

平成 25 年度

金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 26 年 3 月

(2014 年)

金 沢 市

(金沢市埋蔵文化財センター)

例 言

1. 本書は、金沢市都市政策局歴史文化部文化財保護課および金沢市埋蔵文化財センターが平成 25 年度に行った埋蔵文化財保護行政の概要、成果および結果を公表することを目的として刊行するものである。
2. 本書は、平成 25 年度に実施した埋蔵文化財の発掘調査、分布調査、および教育・普及・啓発活動に関することを中心に編集したものである。
3. 本書に掲載した埋蔵文化財の遺構・遺物等の写真は、それぞれの担当者が撮影した。
4. 各遺跡の遺構番号は石川県遺跡・文化財情報システム（平成 25 年度版）に準拠している。

目 次

1. 埋蔵文化財発掘調査等事業	1
2. 埋蔵文化財分布調査事業	27
3. 教育・普及・啓発活動事業	35
4. 組織	41

1. 埋蔵文化財発掘調査等事業

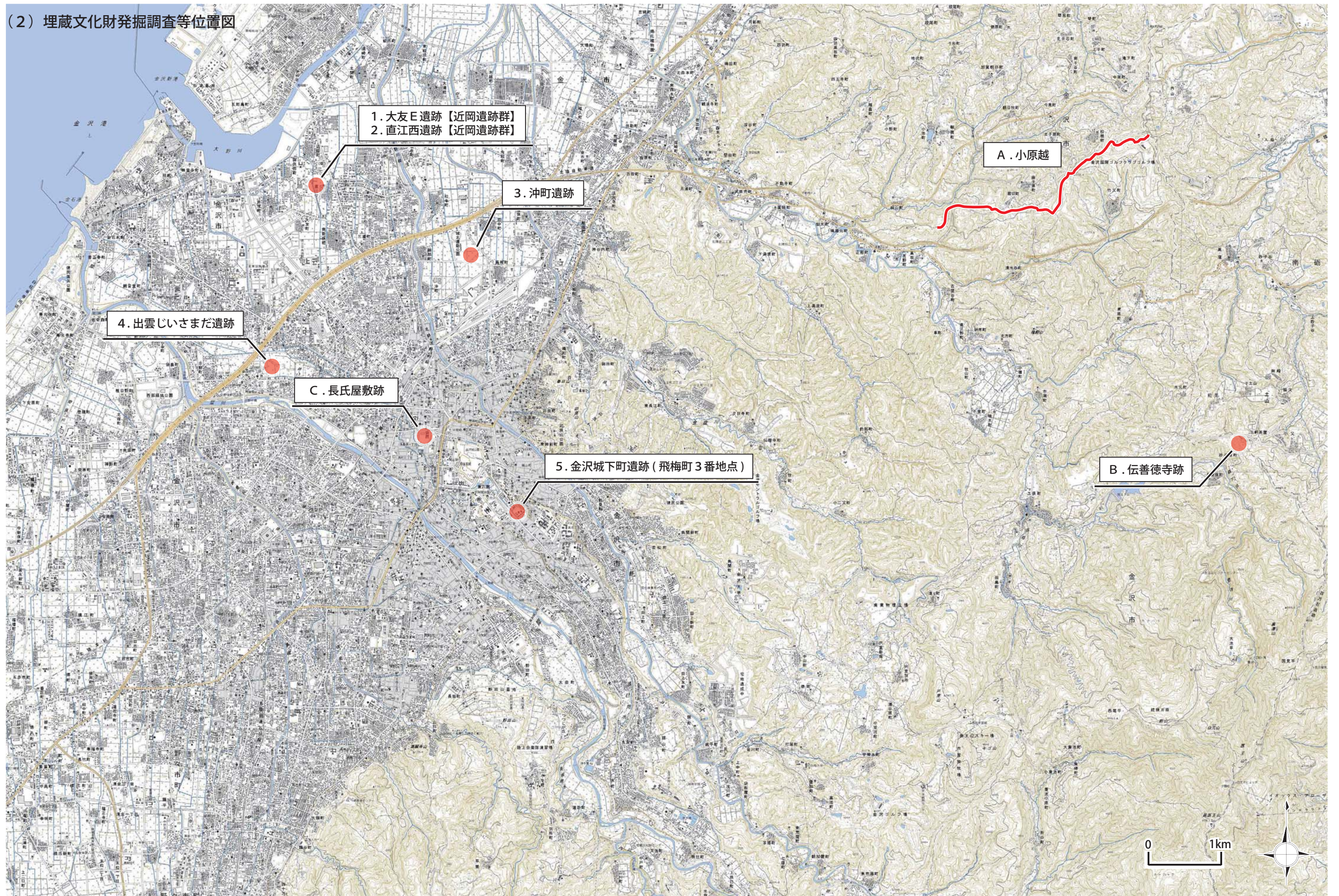
(1) 埋蔵文化財発掘調査等一覧

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費 (千円)	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
緊急発掘調査										
おおとも いせき ちかおかいせきぐん 大友E遺跡【近岡遺跡群】										
1	金沢市 近岡町地内	1,437㎡	道路築造 (公 共)	20130522 ～ 20130930	沖積地	20,003 (2 と合算)	30 箱	弥生 古墳 古代 中世	竪穴建物 土坑 掘立柱建物 川跡	弥生土器 土師器 須恵器 木製品 勾玉
な おえにし いせき ちかおかいせきぐん 直江西遺跡【近岡遺跡群】										
2	金沢市 近岡町地内	948㎡	道路築造 (公 共)	20130805 ～ 20130914	沖積地	20,003 (1 と合算)	28 箱	弥生 古墳 古代 中世 近世	川跡 溝 掘立柱建物	弥生土器 土師器 須恵器 陶磁器 木製品 古銭
おきまち いせき 沖町遺跡										
3	金沢市 磯部町地内	1,332㎡	プール建設 (公 共)	20130806 ～ 20131015	沖積地	12,929	3 箱	弥生 古墳 平安 近世	川跡 溝 柵列	弥生土器 土師器 石製品 玉製品
いずも いせき 出雲じいさまだ遺跡										
4	金沢市 戸板第二土地区画整理 事業施行地区内	510㎡	公民館建設 (公 共)	20131108 ～ 20131227	沖積地	7,010	20 箱	弥生 古墳	平地式建物 土坑 掘立柱建物 溝	弥生土器 土師器
かなざわじょうかまち いせき とびうめちょう ばん ちてん 金沢城下町遺跡 (飛梅町3番地点)										
5	金沢市 飛梅町地内	924㎡	体育館改築 (公 共)	20131122 ～ 20140305	台地	30,210	89 箱	近世	(武家屋敷跡) 石組井戸 土坑 地下室状遺構 溝	陶磁器 土器 瓦 石製品 木製品 金属製品

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費 (千円)	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
学術調査										
おほらごえ かえつこつきょうじょうかくぐん こどう 小原越【加越国境城郭群と古道】										
A	金沢市 松根町・竹又町・ 堀切町地内 ほか	41㎡	学術調査 (公 共)	20130709 ～ 20130802	丘陵	5,161	—	中近世	道 堀	—
でんぜんとくじ あと ぜんとくじ いせき か が いてこういつきかんれんいせき こどう 伝善徳寺跡 (善徳寺遺跡)【加賀一向一揆関連遺跡と古道】										
B	金沢市 砂子坂町地内	250㎡	学術調査 (公 共)	20131018 ～ 20131202	丘陵	3,750	1 箱	中世	平坦地 切岸 集石 石列 焼土坑 道	土師器 珠洲焼 越前焼 青磁 土製品 金属製品
ちやうしやしきあと 長氏屋敷跡										
C	金沢市 玉川町地内	40㎡	学術調査 (公 共)	20131007 ～ 20131105	沖積地	1,984	3 箱	近世 近代	(武家屋敷跡) ピット 石垣	陶磁器 瓦 石製品 須恵器 土師器

※「出土遺物数」は容量 36ℓ テンバコに換算した数量である。

(2) 埋蔵文化財発掘調査等位置図



(3) 埋蔵文化財発掘調査概要

1. 大友E遺跡【近岡遺跡群】

(遺跡番号 県：143800 市：438)

所在地：金沢市近岡町地内

北緯 36° 36′ 22″

東経 136° 37′ 51″

調査面積：1,437㎡

種別：集落跡

主な時代：弥生、古墳、古代

担当：景山 和也



■ 遺跡の概要

大友E遺跡は金沢市の北西部、大野川河口に所在する金沢港から約1km内陸に入った場所に位置する。周辺には大友A・D・F・Gの各遺跡や、直江北・中・西遺跡などからなる直江遺跡群が広がっており、金沢市でも遺跡の密集する地域である。調査は都市計画道路・福久福増線（海側幹線側道）建設工事に伴い、側道道路敷き部分および道路新設部分について実施したものである。

本遺跡は、金沢市副都心北部大友土地区画整理事業に伴う試掘調査によって、平成20年に大友町地内で発見されたが、今回の道路工事に伴う試掘調査によって、近岡町地内にも遺跡が広がっていることが確認された。これまでに、縄文時代から室町時代の遺跡であることがわかっている。

(1) 側道部分の調査

側道部分の調査では、主に弥生時代後期～古墳時代の遺構と遺物がみつかった。

弥生時代後期では、竪穴建物1棟と川跡を検出している。竪穴建物は長方形で支柱は2本、壁溝を巡らせている。建物の埋土には多くの炭化した木材と焼土が混入しており、焼失家屋と推察される。川跡は調査区西端と中央で2条検出され、うち中央の1条は少なくとも3回流路を変えており、遺物は川の北側から多く出土している。大型の壺や高杯、装飾された高杯、赤彩ミニチュア土器などが集中する地点もある。天王山式土器が1点出土している。

古墳時代の遺構には埋納土坑がある。炭層を持ちながら埋め戻された穴の底からは、完全な形をした小型の鉢が伏せられた状態で出土した。

(2) 道路新設部分の調査

道路新設部分の調査では、古墳時代の竪穴建物と土坑、平安時代の掘立柱建物および柵列が検出されている。

古墳時代の竪穴建物は壁溝のみの検出であるが、およそ5m×8mの規模を測る。土坑（SK03）からは当該期の土器とともに、蛇紋岩製の勾玉が出土している。

平安時代の掘立柱建物は2×4間以上の規模で、主軸を南北から若干西に採り、南部分は調査区外へ延伸している。柱間は2.4m、3穴に柱根が残存していた。柵列は掘立柱建物の東側に展開し、建物と主軸を同じくするが、前後関係は不明である。

大友E遺跡は過年度に隣接する土地区画整理事業で調査を行っているが、遺跡の中心は両調査区の南東部にあり、今回の調査区はそれぞれ遺跡の北縁辺・西縁辺部として捉えることができよう。



大友E遺跡 側道部分調査区全景（北から）



竪穴建物（焼失家屋）



古墳時代の土坑 土器出土状況



川跡（北東から）



川跡 土器出土状況



川跡 天王山式土器出土状況



川跡 梯子出土状況



大友E遺跡 道路新設部分調査区全景（南から）



掘立柱建物と竪穴建物



掘立柱建物 柱根出土状況



土坑断面（SK03）



同左 土器出土状況



勾玉出土状況（SK03）



作業風景

2. 直江西遺跡【近岡遺跡群】

(遺跡番号 県：144300 市：443)

所在地：金沢市近岡町地内

北緯 36° 36' 25"

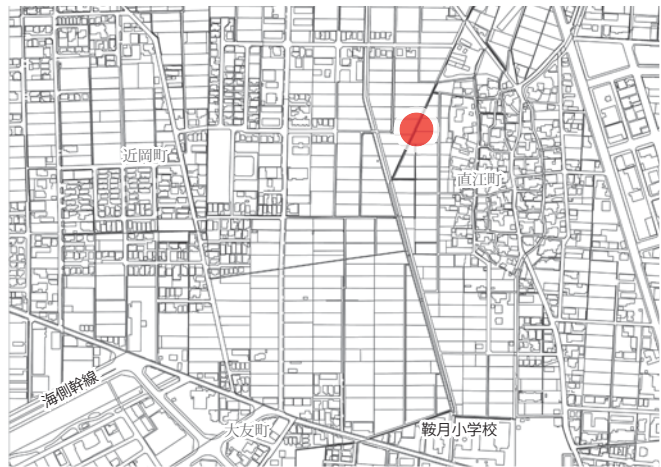
東経 136° 37' 55"

調査面積：948㎡

種別：集落跡

主な時代：弥生、古墳、古代、中世、近世

担当：景山 和也



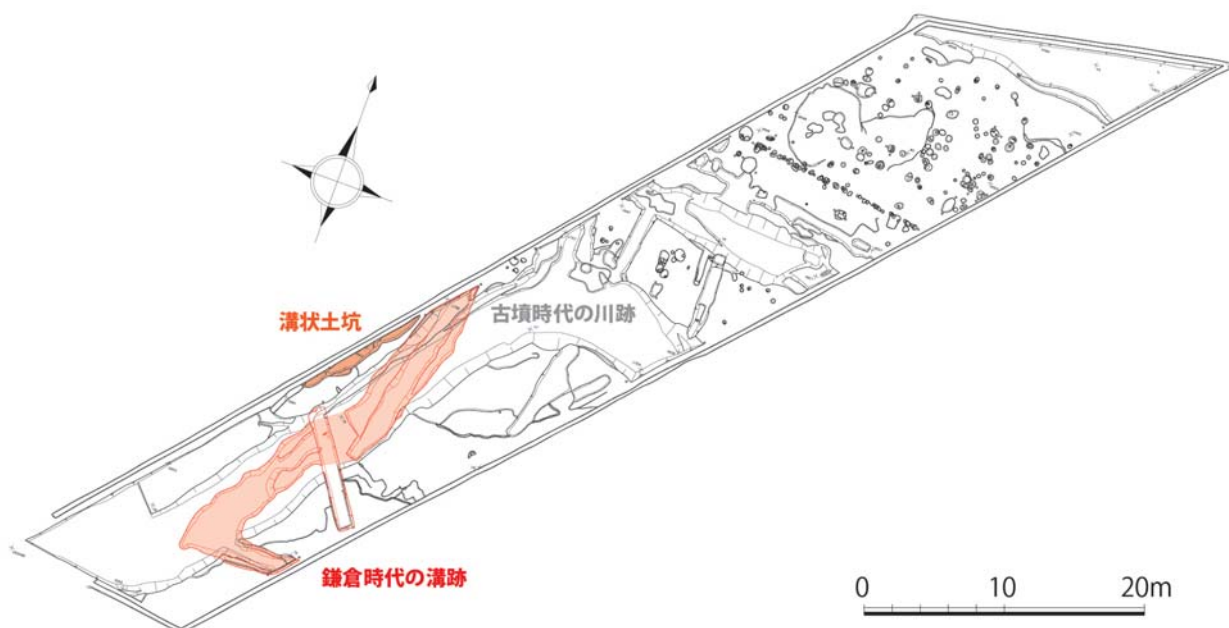
■ 遺跡の概要

本遺跡は、金沢市副都心北部直江土地地区画整理事業に伴う試掘調査によって、平成 18 年に直江町地内で発見されたが、今回の道路工事に伴う試掘調査によって、近岡町地内にも遺跡が広がっていることが確認された。調査は都市計画道路・福久福増線（海側幹線側道）建設工事に伴い、側道道路敷き部分について実施したものである。

今年度調査区は平成 21 年度調査区の北側に位置し、主な遺構として方形周溝墓の周溝と思しき溝状土坑、古墳時代に属する川跡、鎌倉時代と考えられる溝跡が検出されている。

溝状土坑は調査区の中央北端で一部分のみの検出となっており、全容は不明であるが、弥生土器の細片とともに 3 穴のガラス玉 1 点が出土している。川跡は調査区南西端より中央東側の範囲にあり、古墳時代前期の土器とともに大量の木製品が出土している。

この川跡の上面に鎌倉時代の溝が重複して存在しており、埋土から陶磁器とともに紹興通宝 1 点がみついている。区画溝的な性格をもつものと考えられ、中心は本調査区の南東側に位置すると推察される。調査区北半には近世～近代の遺構が展開し、遺跡の北縁辺の様相を示している。



直江西遺跡 遺構図 (S = 1/500)



直江西遺跡 調査区全景（南西から）



鎌倉時代の溝（北から）



川跡 土器出土状況



川跡 木製品出土状況



溝状土坑 ガラス玉出土状況

3. ^{おきまち いせき} 沖町遺跡

(遺跡番号 県：145200 市：452)

所在地：金沢市磯部町地内

北緯 36° 35' 45"

東経 136° 39' 36"

調査面積：1,332㎡

種別：集落跡

主な時代：弥生、古墳、平安、中世

担当：新出 敬子



■ 遺跡の概要

金沢市では平成 25 年 8 月 6 日から 10 月 15 日の期間、プール建設に先立ち磯部町地内で沖町遺跡の発掘調査を行った。

沖町遺跡は平成 2 年度（1990 年）に発掘調査が行われ、古墳時代前期末～中期初頭（4 世紀後半～4 世紀末頃）の集落跡がみつまっている。さらに平成 12 年度（2000 年）に城北市民運動公園の暫定駐車場の大規模な試掘調査が行われ、沖町遺跡の詳細な範囲が確定された。今回発掘調査を行った場所は沖町遺跡の北端部に位置する。

今回の調査では弥生時代中期前半、弥生時代末～古墳時代初頭、古墳時代前半、平安時代、近世の遺構や遺物がみつき、沖町遺跡の縁辺部の様子が明らかになった。

弥生時代中期前半の土器が出土した溝（SD07）がみつまっている。

弥生時代後期後半（3 世紀中頃）では、土器や磨製石斧が出土した川跡（SD01）とその川の分流とみられる SD04 がみつかった。幅は広い所で 7m50cm、深さは 30cm 程度の浅い川である。川土には植物が多く混ざっており、流れが少ない場所だったと考えられる。

弥生時代末～古墳時代初頭（3 世紀中頃～3 世紀末頃）では、溝が 2 条みつかった。SD06 と SD10 は平行に流れ、溝の中に柵を打ち込んだような形跡があることから、区画や防御のための施設があった可能性がある。

古墳時代前期（4 世紀初～4 世紀後半）では溝が 2 条みつかった。SD09 からは側面穿孔管玉が出土した。緑色凝灰岩という北陸地方で産出される石でできており、長さ 3cm、幅 5mm を測る。管玉のように円筒形をしていて両端と中央に片側から孔（1.5mm～2.3mm）が等間隔に 3 ヲ所開けられ貫通している。このような石製品の出土は大変希である。

また、SD03 からは古墳時代の結歯式竖櫛が出土した。結歯式竖櫛とは主に竹を細長く切り、糸などで束ねた縦長の櫛で、束ねた部分を黒漆で固定してある。

平安時代では溝が 1 条みつかっており、須恵器の杯が出土した。

発掘調査の結果から今回調査した場所の近くで弥生時代中期頃から人々が生活を始めて古墳時代中期頃まで続き、いったん途切れた後、再び平安時代、中・近世と人が住むようになったことが明らかになった。



中区 (南西から撮影)



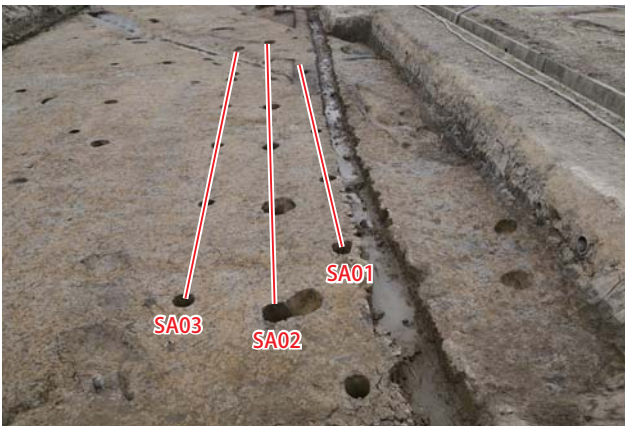
西区 (北から撮影)



東区 (南から撮影)



SD11 東区 (区画溝か 北西から撮影)



柵列 東区 (北から撮影)



結歯式竖櫛 (中区 SD02 出土)



側面穿孔管玉 (中区 SD09 出土)



作業風景

4. 出雲じいさまだ遺跡

(遺跡番号 県：140300 市：403)

所在地：戸板第二土地区画整理事業施行地区内

北緯 36° 34' 47"

東経 136° 37' 21"

調査面積：510㎡

種別：集落跡

主な時代：古墳

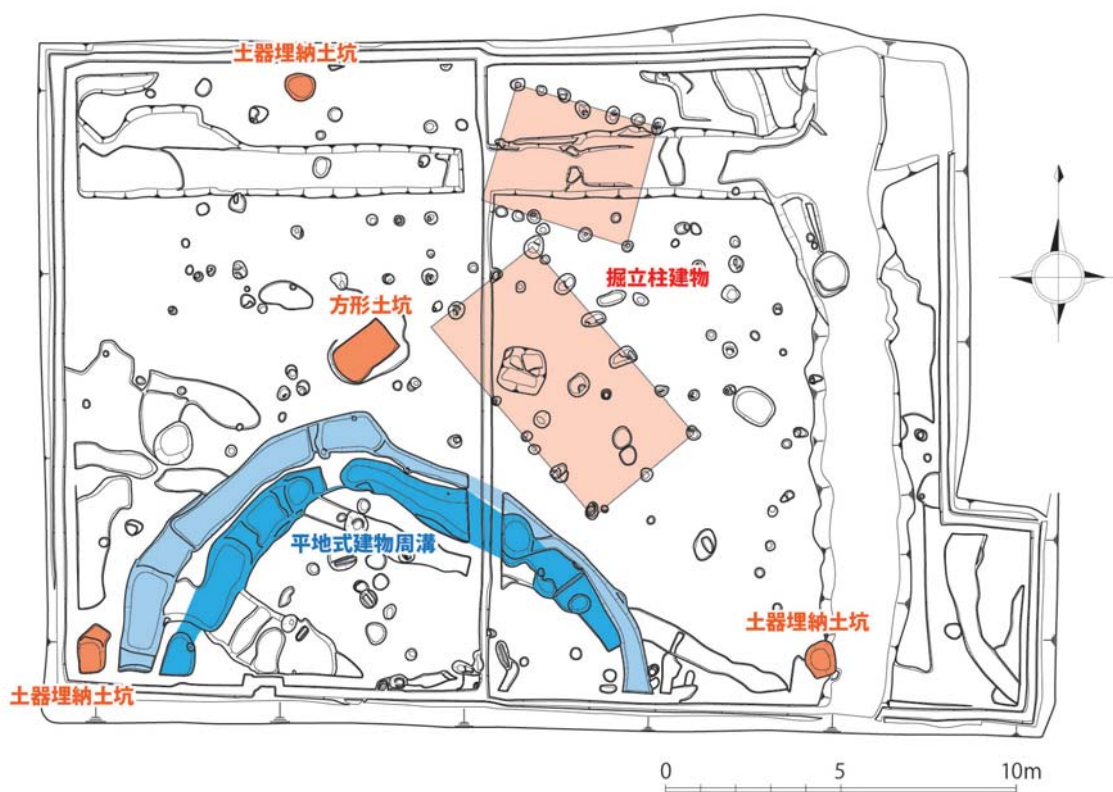
担当：景山 和也



■ 遺跡の概要

平成 25 年度の出雲じいさまだ遺跡の発掘調査は、(仮称) 戸板会館建設工事に先立って行われたもので、平成 23 年度調査区の北側、平成 14 年度調査区の南東に隣接する。主な遺構として古墳時代前期の平地式建物周溝、掘立柱建物、土器埋納土坑、方形土坑がある。

平地式建物の周溝は調査区南端で 2 条重なって検出されており、同位置での掘り直しあるいは建替えが想定されるが、南半が調査区外へ延伸するため全容は明らかではない。西半部は連続する長方形の土坑で構成されており、土坑間を浅い溝で繋ぎ、この部分が土橋状を呈する。柱穴は削平のため明確でないが、礎板が残存するものがある。掘立柱建物は 2 × 5 間、2 × 4 間の計 2 棟が確認された。隣接する位置にあり主軸も異なることから 2 時期の変遷が想定される。



出雲じいさまだ遺跡 遺構図 (S = 1/200)



出雲じいさまだ遺跡 調査区遠景（東から 写真左は戸板小学校）



平地式建物の周溝



掘立柱建物



土器埋納土坑 遺物出土状況



方形土坑

5. 金沢城下町遺跡（飛梅町3番地点）

（遺跡番号 県：130416 市：304-16）

所在地：金沢市飛梅町地内

北緯 36° 33′ 30″

東経 136° 40′ 01″

調査面積：924㎡

種別：城下町

主な時代：近世

担当：谷口 明伸、前田 雪恵



■ 遺跡の概要

本発掘調査は金沢市立紫錦台中学校の体育館改築工事に伴うもので、調査区は既存校舎、体育館、金沢くらしの博物館（旧石川県立第二中学校三尖塔校舎：石川県指定文化財）に囲まれた同校の運動場内に位置する。

調査区内の基本層序は現地表から約 0.8m までが運動場の整備層であり、その直下で淡黄褐色粘質土の地山層が展開する。遺構は地山上で検出されるが、部分的に地山の上層に近世整地層が展開する箇所があるため、運動場造成時に削平を受けている可能性が高い。調査地には昭和 50 年代まで中学校校舎が存在しており、調査区内には当時の建物基礎及び配管跡が残存する。

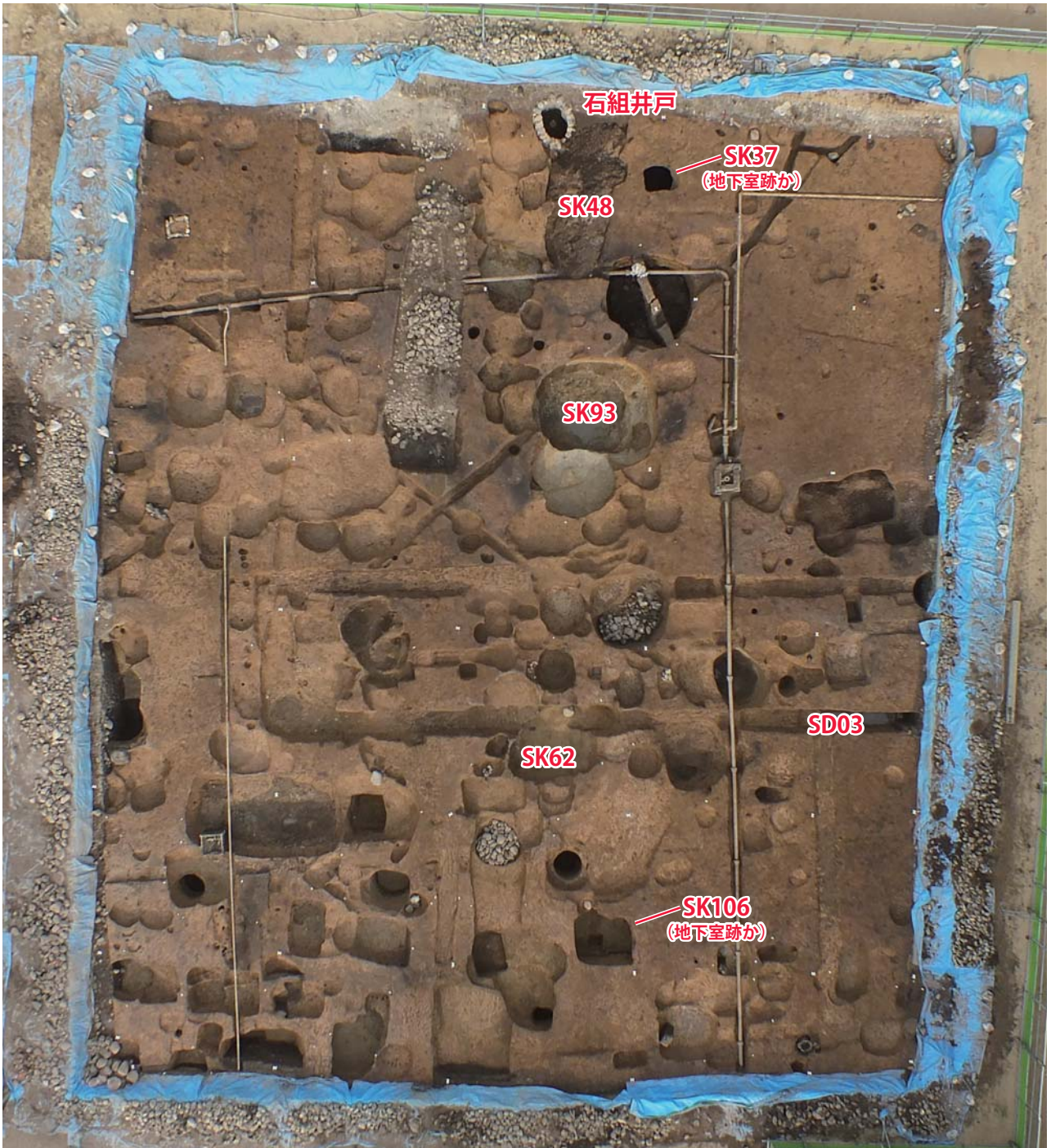
地山上で検出された遺構は全て藩政期のものであり、石組井戸、大小の土坑、溝、ピット等が確認されている。

石組井戸は調査区の北東端で検出され、粘土採掘跡と思われる大規模土坑 SK48 を切っている。平面形は円形を呈し、面取側を内面に向けた扁平な石材による石積を検出している。粘土採掘土坑の掘方に接する部分は石積を深く築いている。藩政期の所産と見られるが、井戸内部より近代の遺物が出土していることから廃絶時期は近代以降と見られる。

検出された大小の土坑の大部分は粘土採掘跡と思われる。平面形は隅丸方形または円形で、長辺または直径が 2 m、深さ 1.5 m 程度のもが多く見られ、連続して配置される傾向が看取される。一部には SK93 など直径が 4 m を超える大規模なものも存在する。採掘後、日常雑器などを投棄し埋め戻されたものも確認されている。その他、地下室跡と思われる方形土坑を 2 基確認している。

溝は北西－南東方向に走るものを複数確認している。いずれもほぼ平行に走り、幅が約 0.7 m と一定しているため、後述する前田家（長種系）下屋敷の屋敷割に関連する遺構である可能性が想定される。底面は凹凸を繰り返しており、深いところで約 0.8 m、浅いところで約 0.3 m を測る。溝 SD03 と接する土坑 SK62 からは SD03 に平行した形で石垣を検出しており、断面観察から水流の存在が確認されるため、水溜等の機能を有した施設である可能性が考えられる。SK62 の掘方上層からは文化 15 年（1818）銘の暦手茶碗が出土しており、本遺構の時期比定に大きな手がかりを与えている。

本調査区は、藩政期においては加賀八家の一家である前田家（長種系）の下屋敷の一角に当たる。加賀八家は加賀藩の年寄役を代々世襲した家臣団最上位の家柄で、本多家、横山家、長家、前田土佐守家、前田家（長種系）、奥村家（宗家）、奥村家（支家）、村井家の 8 家があったことからこの呼称がある。今回の発掘調査は、加賀藩重臣の家臣たちの生活状況を検討するうえで考古学の分野から新たな資料を提供した結果となったといえる。



調査区全体 (左上が北)



発掘調査風景



石組井戸



延宝金沢図と現在の都市計画図の重ね合わせ図（都市計画図の縮尺 $S = 1/6,000$ ）



SK62



曆手茶碗（文化15年銘）

(4) 学術調査の成果

A. 小原越おはらごえ（加越国境城郭群と古道かえつこつきょうじょうかくぐんと古道こどう）

（遺跡番号 県：なし 市：なし）

所在地：金沢市竹又町・堀切町地内ほか

北緯 36° 36′ 16″

東経 136° 46′ 05″

調査面積：41m²

種別：道跡

主な時代：中近世

担当：向井 裕知



■ 遺跡の概要

(1) 加越国境城郭群と古道の概要

加越国境とは旧加賀国と旧越中国の国境を示し、概ね現在の石川県金沢市と富山県小矢部市の県境付近を指している。この国境越えには、北陸道の他にも、複数の短距離で越中へ到達する脇街道と呼ばれる山越え道が利用されており、現在それらは、舗装道路や林道などに姿を変えながらも、多くが当時の道筋を踏襲している。これらの道は中世や近世にも使用されていたと考えられる。

本能寺の変から2年後の天正12年（1584）、羽柴秀吉と織田信雄・徳川家康連合軍が織田信長亡き後の天下統一をめぐり争った「小牧・長久手の戦い」が勃発するが、それに連動して、秀吉方の前田利家と家康方の佐々成政は、加賀と越中の国境付近に対峙することとなり、加越国境付近の街道沿いには多くの山城が築造された。

天正13年8月の羽柴秀吉による越中出陣により佐々成政は降伏したが、この後に越中の西半分が前田利家の長男利長に与えられたことで、加越国境付近の緊張状態は解消され、城郭群は不要になったと考えられる。

(2) 小原越の概要

近世に「小原越」・「小原谷道」・「小原道」、近代に「小原谷往来」と呼ばれており、江戸時代には北陸道を凌ぐ交通量があったという。

古代・中世の呼称は不明であるが、遺跡の分布や古文書の記載から中世には既に道があったものと推定され、本調査によって城郭によって遮断されていることがわかった。

北陸道を金沢市吉原町で分岐し、宮野町から松根城跡前の峠を越えて砺波郡北西部（現小矢部市）にいたる脇街道であり、延長約20kmである。

現存する道筋は現道や林道、作業道などとして現在も利用されているが、部分的には隣接して往時の道跡が残っており、本調査によってこれまでに知られていなかった尾根筋でも道跡が見つかった。

(3) 発掘調査概要

A 調査位置（アルファベットは図と一致）

（ア）松根城跡周辺

A：尾根下の平坦地 幅1.6m程の道跡を確認。

B：尾根筋 幅1.2m以上の道跡を確認。

- C：掘り割り地 幅 1.5 m前後の道跡を確認。
D：堀切 岩盤削り出しの薬研堀を確認。

(イ) 小原越域

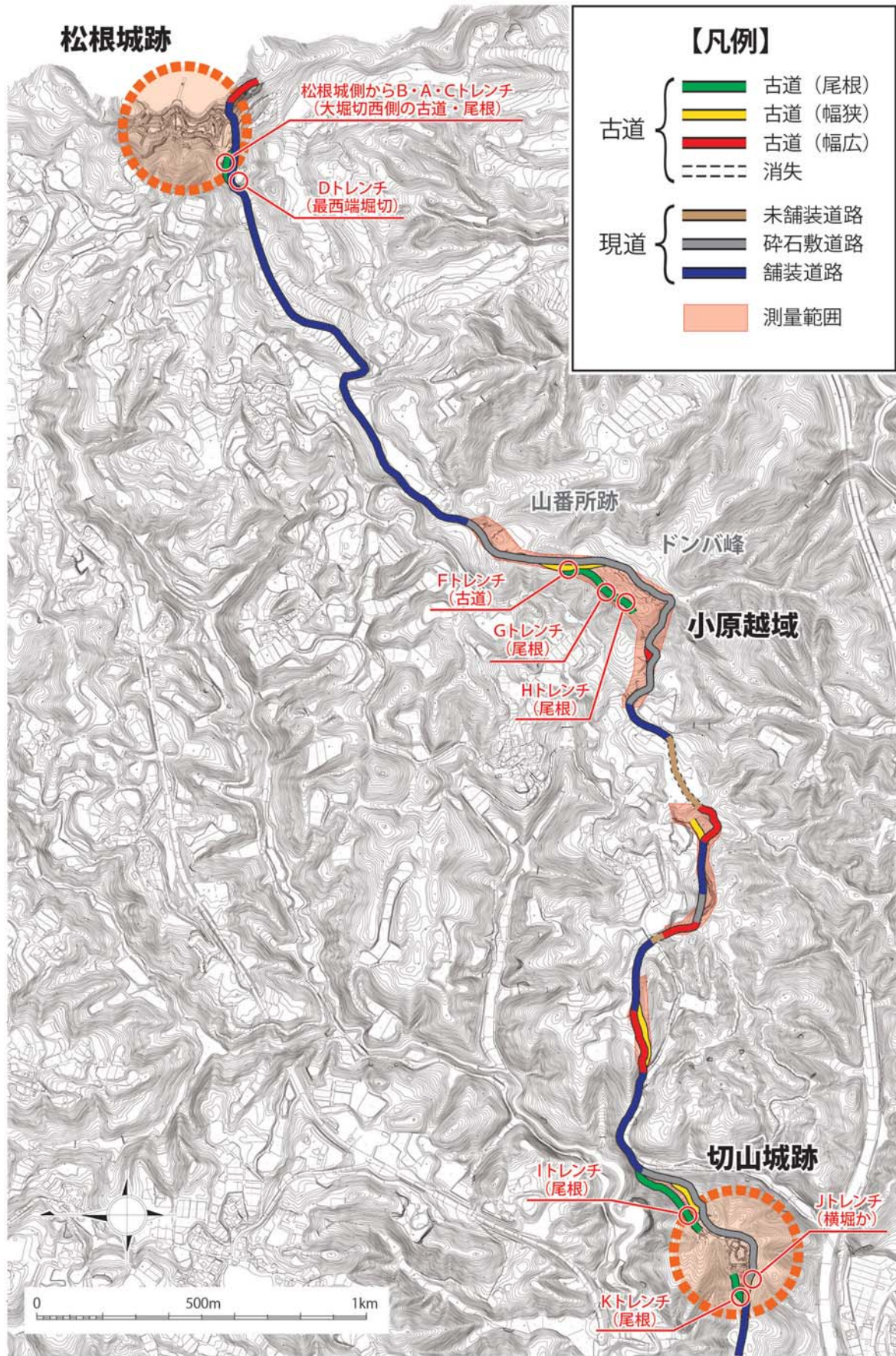
- F：掘り割り地 幅 1.5 m前後の道跡を確認。
G：尾根筋 幅 1 m前後の道跡を確認。
H：尾根筋 幅 1.5 m前後の道跡 2 条を確認。

(ウ) 切山城跡周辺

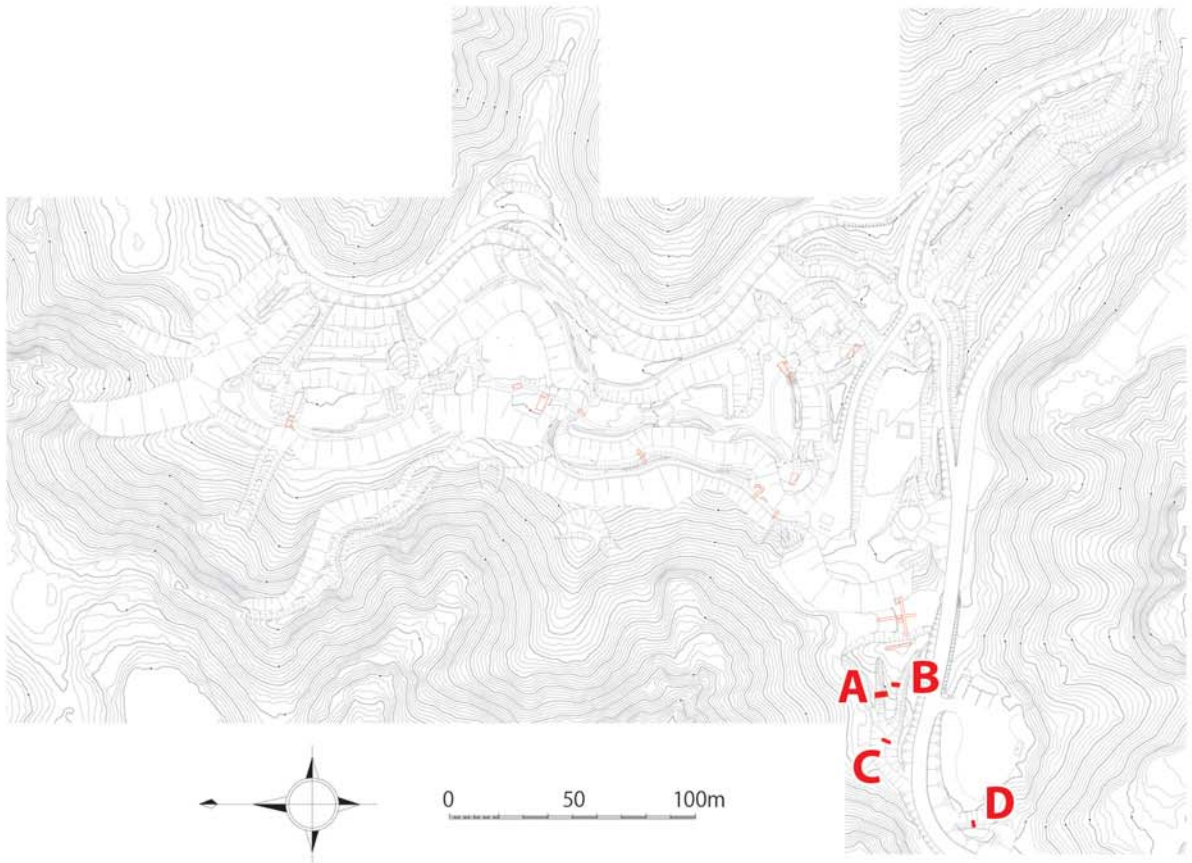
- I：尾根筋 幅 0.7 m程の道跡を確認。
J：横堀 深さ約 1 m 以上の掘り込みを確認。
K：尾根筋 道跡は未検出。

イ 調査成果

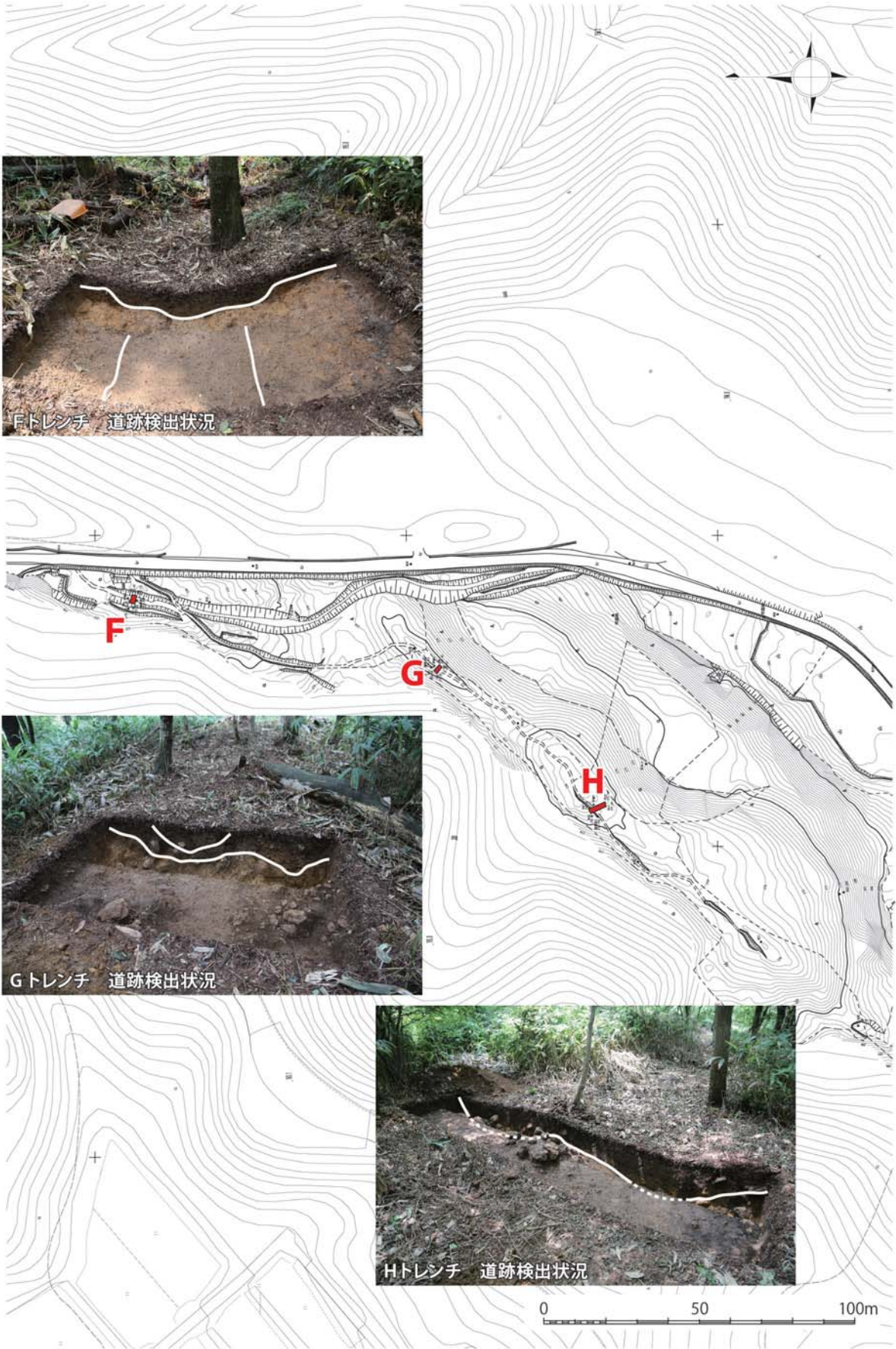
今回の測量及び発掘調査によって、尾根筋に道跡が存在することが明らかとなり、遺構としては幅 1 m前後の浅い凹みが確認できた。現在小原越と伝わる掘り割り道や現作業道が存在する場所に隣接する尾根で見ついていることから、古小原越である可能性が高い。また切山城や松根城の周辺でも尾根筋に道跡が確認されており、城郭の堀切などで遮断されていることがわかっている。つまり、中世に遡る古小原越は尾根道であることが推定可能となった。掘り割り道については幅狭と幅広のものがあり、幅広の道が荷車に対応することを考えると、当初は幅狭であったものから幅広掘り割り道への変遷が推定できる。よって、中世段階では尾根道、近世頃に尾根もしくは若干下がった位置での幅狭掘り割り道、荷車を用いた近代以降に幅広の掘り割り道を利用し、現在に至るようになったという変遷が想定できるようになった。



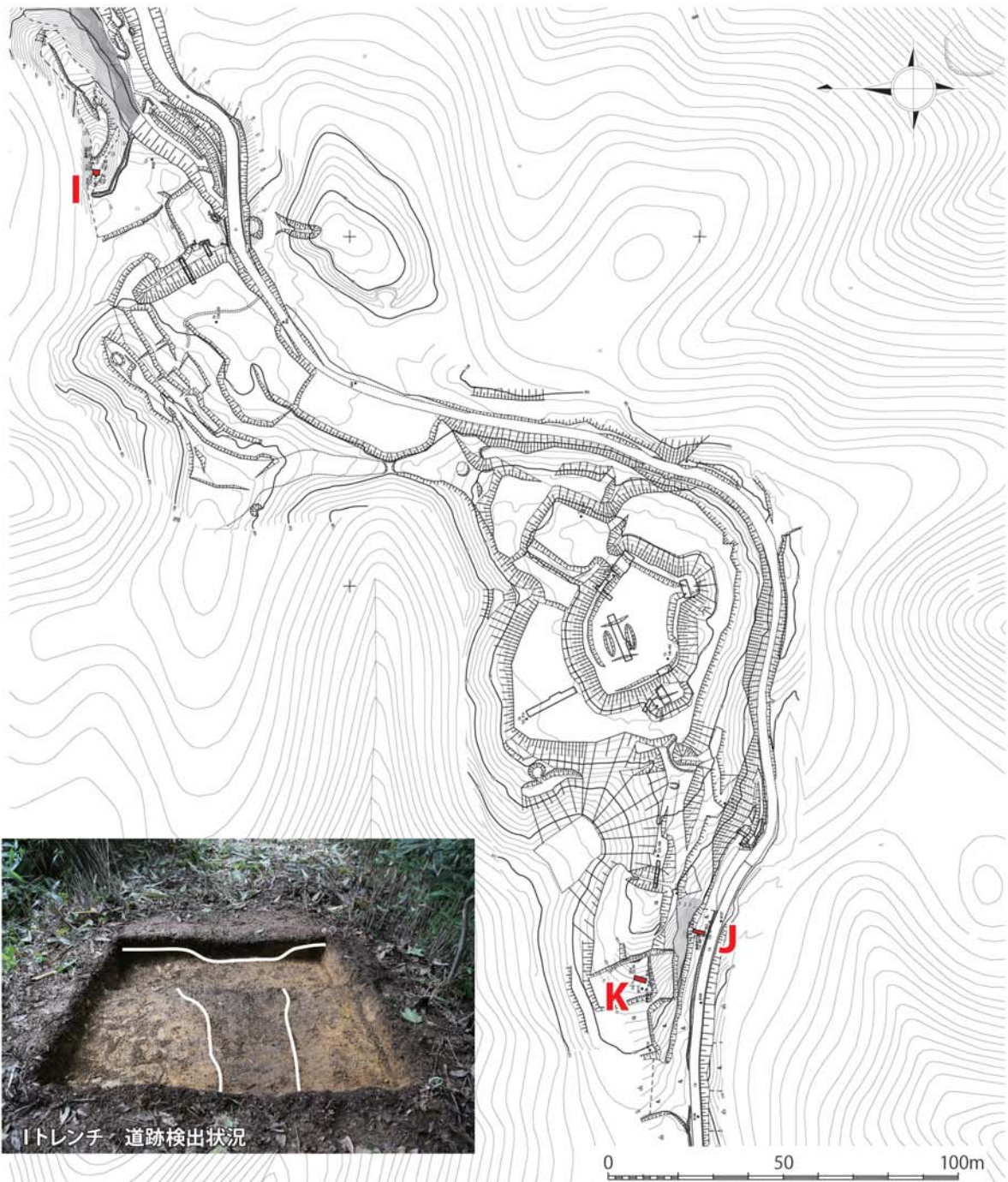
小原越発掘調査及び測量位置図



松根城跡周辺トレンチ



小原越域トレンチ



切山城跡周辺トレンチ

B. 伝善徳寺跡 (加賀一向一揆関連遺跡と古道)

(遺跡番号 県：153000 市：530)

所在地：金沢市砂子坂町地内

北緯 36° 33′ 59″

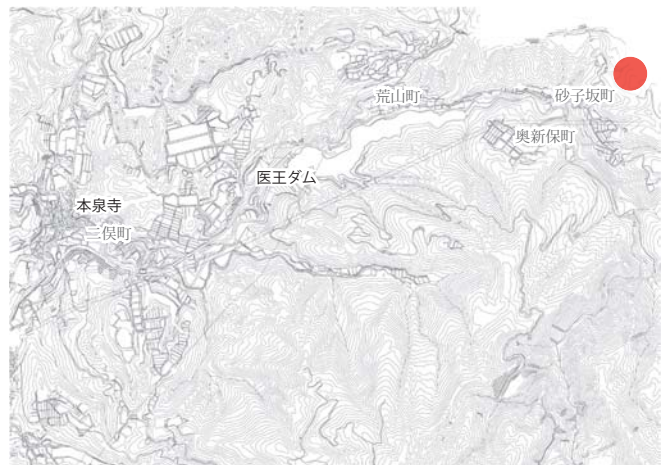
東経 136° 48′ 08″

調査面積：250㎡

種別：寺院跡

主な時代：中世

担当：向井 裕知



■ 遺跡の概要

(1) 加賀一向一揆関連遺跡と古道の概要

北陸は真宗王国と称されるほど真宗の門徒が多く、その礎は中世に遡るが、加賀・越中を結ぶ二俣越の沿道には、二俣本泉寺などの有力寺院や加賀・越中国境付近の金沢市伝善徳寺跡（のちの城端・善徳寺）、砂子坂道場跡（のちの福光・光徳寺）、南砺市土山御坊跡（のちの高岡・勝興寺）など、後の有力寺院の元となる道場跡が今も残っている。また、永正の越前一揆（1506年）の後、越前朝倉氏により北陸道が閉鎖されたため、二俣越は加賀より山科本願寺へ至る重要な陸路となる。

このように、加賀一向一揆に関連した寺院等が二俣越沿いに展開しており、現在もその姿を良く留めていることを特徴とする。

(2) 善徳寺跡の歴史

ア 善徳寺の草創と砂子坂

本願寺8世蓮如は文明3年（1471）に越前（あわら市）吉崎に吉崎御坊を構える。その際に越中（南砺市）井波の瑞泉寺（本願寺5代綽如創建）を2度訪れている。その行路として、本泉寺のある二俣や砂子坂を通過する二俣越を利用したと考えられる。

その道すがら、周覚（綽如3男）が布教していた砂子坂に訪れ、「この地は仏法有縁の土地柄であるから、道場を建立するように」と諭され、周覚の孫にあたる蓮真に付属されたと、善徳寺縁起は伝えている。

光徳寺に伝わる「砂子坂末寺之覚」には、砂子坂（善徳寺？）の末寺が記載されており、加賀に7ヶ所、越中に14ヶ所の道場名が記されている。加賀の道場所在地としては、小原に1ヶ所、森下（森本）に4ヶ所、福久に1ヶ所、松根に1ヶ所の計7ヶ所であり、北陸道や小原越といった越中へ通じる街道沿いに所在していることがわかる。

イ 善徳寺の移転

砂子坂から越中の法林寺、山本、福光へと移転を繰り返すが、いずれも二俣から井波への道筋に位置している。

(ア) 砂子坂から法林寺へ 『日野一流系図』によると、文明6年（1474）にはまだ砂子坂におり、文明9年（1477）以降に法林寺に移転したことがわかる。

(イ) 法林寺から山本へ 山本に善徳寺墓所があることや、『日野一流系図』に善徳寺との寺号が付さ

れるのも、山本に移転を行った実円の代からであることから、このころから「善徳寺」号を名乗って、本格的な真宗寺院として活動していた可能性が高い。なお、山本には延徳元年（1489）までには移転が済んでいたようである。

(ウ) 山本から福光へ 天文 10 年（1541）には移転が済んでいたようである。

(エ) 福光から城端へ 永禄 2 年（1559）、元亀 3 年（1572）、天正元年（1573）、慶長 9 年（1604）の各説がある。

(3) 発掘調査概要

ア 調査概要

伝善徳寺跡の中心部と想定される平坦地を中心に調査区を設定し、石敷き面や、焼土坑などが見つかった。出土遺物から室町～戦国時代（15 世紀後半～16 世紀）にかけての遺跡と判明した。

イ 検出遺構と出土遺物（アルファベットは図と一致）

(ア) 造成された平坦地：A（約 50cm の盛土造成を確認。盛土内から 15～16 世紀頃の土師器皿が出土。）・M・N・O

(イ) 掘削・成形された岩盤：B・C・E・J・K

(ウ) 石列：B・D

(エ) 礎石状の石：C・D

(オ) 焼土坑：F（焼け土が入った穴、15 世紀後半～16 世紀の青磁碗、越前焼甕、珠洲焼すり鉢、土師器皿などが出土。）

(カ) 石敷き面：F・G・H

(キ) 道（釜中越）：P

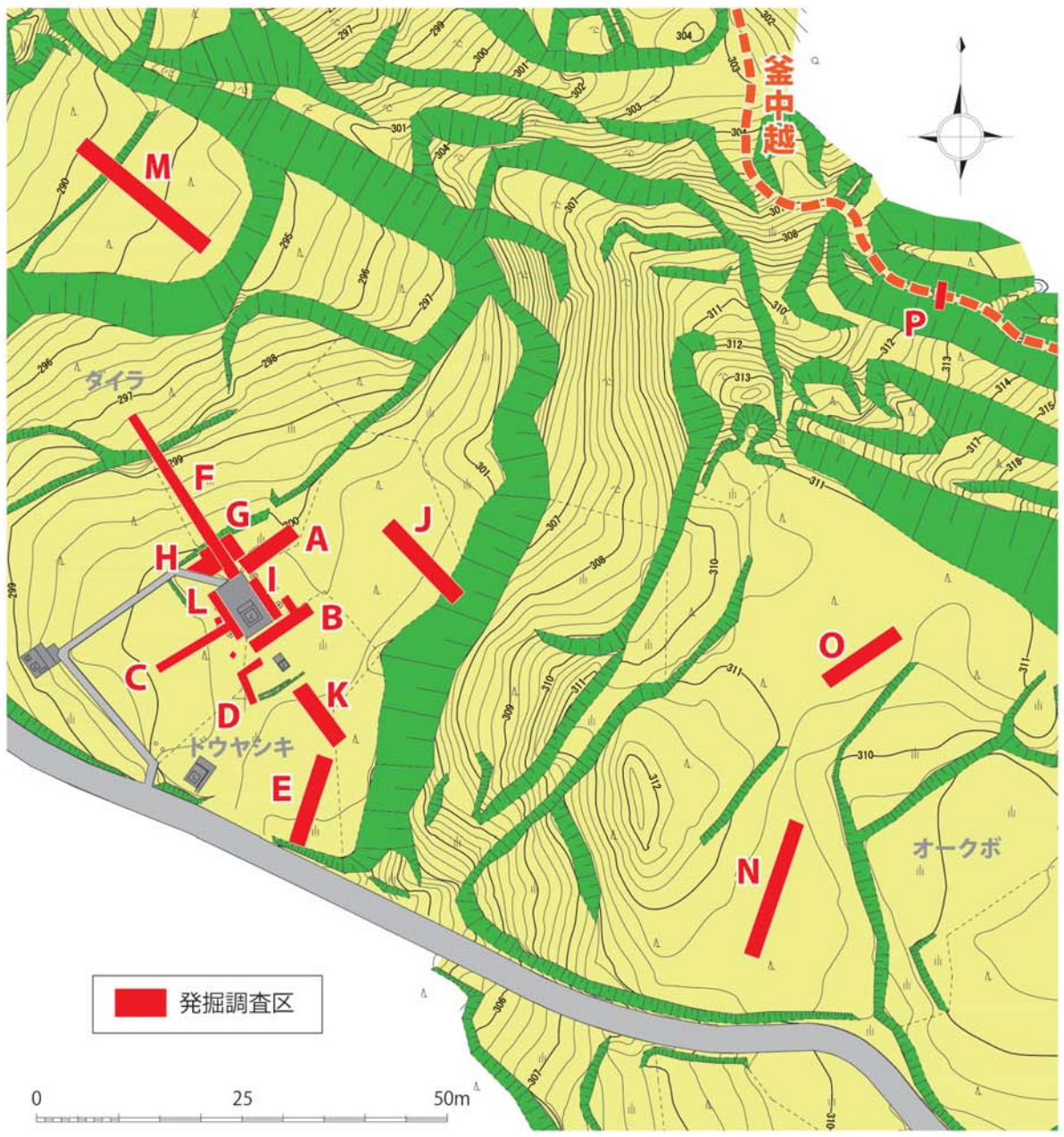
ウ 調査成果

(ア) 室町～戦国時代に造成された平坦地は、岩盤の掘削や盛土などによる大規模な土木工事によって人工的に広げられていることが判明した。

(イ) 出土した遺物によって、伝承の年代を裏付けた。

(ウ) 石を用いた遺構が複数確認できたが、寺跡とは確定できなかった。

(エ) 北東側に複数筋の道跡を確認し、聞き取りによって、城端へ通じる釜中越であることがわかった。



伝善徳寺跡 発掘調査区と周辺遺構図 (S = 1/800)



C. 長氏屋敷跡

(遺跡番号 県：129600 市：296)

所在地：金沢市玉川町地内

北緯 36° 34' 08"

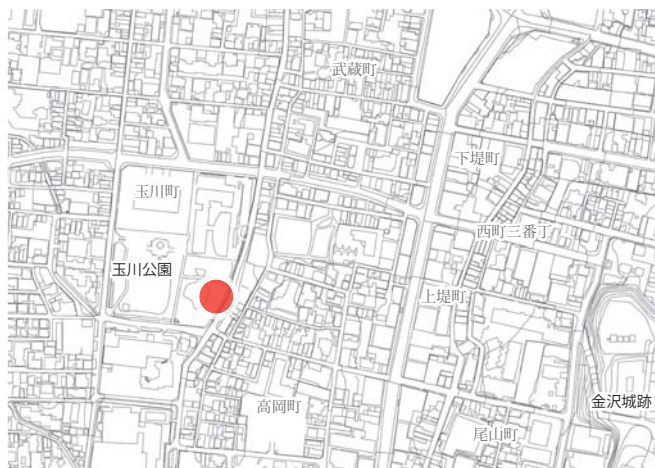
東経 136° 39' 06"

調査面積：40㎡

種別：城下町

主な時代：近世、近代

担当：谷口 明伸



■ 遺跡の概要

金沢市では平成 25 年 10 月 7 日から 10 月 31 日の期間、金沢市玉川町地内の玉川公園内で長氏屋敷跡の発掘調査を行った。江戸時代の長氏屋敷跡表門及び長屋門跡等といった、藩政期の遺構の残存状況確認が目的である。

長氏は、加賀八家と呼ばれる加賀藩前田家の年寄役を代々世襲した家柄の一つである。八家には長家のほか、奥村家（宗家）、奥村家（支家）、本多家、前田土佐守家、前田家（長種系）、横山家、村井家がある。長氏は代々能登守護畠山氏に仕えたが、天正 5 年 (1577) に上杉謙信が能登に侵攻した際に一族が滅ぼされ、ただ一人生き残った長連龍が天正 9 年 (1581) 前田利家の能登入国に伴いその与力となり、以降、明治維新に至るまで代々加賀藩に仕えた。

発掘調査地である玉川公園は江戸時代には長氏の上屋敷であったが、明治 2 年 (1869) の版籍奉還後には金沢藩庁となり、明治 4 年 (1871) に廃藩置県が行われた後は金沢県庁となった。翌 5 年 (1872)、金沢県庁が石川郡美川町（現白山市）に移転した後は金沢区会所、小学校、真宗学問所、前田氏金沢邸と移り変わったが、屋敷は明治 15 年 (1882) の火災で焼失し現存しない。明治 44 年 (1911) には旧日本専売公社（現たばこ産業）金沢地方局の工場が建てられ、昭和 48 年 (1973) の工場移転後は跡地を石川県が取得し、昭和 55 年 (1980) に玉川公園として整備された。平成 23 年には管理が金沢市へ移管され、現在に至る。

発掘調査は、平成 24 年度に引き続き、玉川公園東端の上屋敷表門及び続長屋の推定地において遺構確認トレンチ 2 箇所を設定し、発掘調査を実施した。調査区は現在の園路を南北に挟む形で設定し、それぞれ南側を調査区 1、北側を調査区 2 と呼称した。

○調査区 1

現在の園路の南側に沿う形で設定した。調査面積は約 20㎡。藩政期の明確な遺構は確認されなかったが、地山直上で径約 40cm の河原石を伴うピット 1 基を検出した。ピット内から遺物の出土を見なかったため遺構の時期は不明。調査区壁面の土層観察から 3 期の層位が確認できる。すなわち、現地表より約 40cm 下までが公園造成時の盛土となり、その下に約 80cm の厚さで近代の陶磁器や瓦、煉瓦を含む専売公社時の造成土が展開する。さらにその下に約 30cm の厚さで須恵器、土師器、炭を含む淡黒褐色粘質土層が堆積する。淡黒褐色粘質土層の下位には淡黄褐色シルトの地山が展開する。

○調査区 2

現在の園路の北側に沿う形で設定した。調査面積は約 20㎡。調査区南端より幅約 2.0m の石垣を検出したが、石垣の形状及び出土遺物から近代以降に積まれたものと判断される。その他、藩政期の明確な遺構は確認されなかった。調査区 1 と同様、壁面観察から 3 期の層位が確認できる。現地表

より約 140cm 下位で淡黄褐色シルトの地山を確認している。

○調査成果

本年度の2調査区からは明確な藩政期の遺構は確認されなかった。このことは専売公社の工場建設時に大きな造成を受けたことにより藩政期の遺構が破壊されたと考えられる。ただし、平成24・25年度の発掘調査は上屋敷の表門推定地の一部に留まるため、上屋敷範囲内の他所に遺構が残存している可能性は充分想定される。今後の事例増加を待ちたい。なお、調査区1で検出したピットが建物の礎石となる可能性が想定されるが、当該遺構の時期比定については今後の検討課題となる。

壁面観察からは昨年度調査と同様に3期の層位が確認されたが、昨年度と異なり明確に藩政期のものといえる層位は確認できなかった。なお、地山直上の粘質土層から須恵器・土師器が出土していることから、奈良～平安期の遺構が近隣に存在する可能性が想定される。



調査地点遠景



調査区1 完掘状況



調査区2 完掘状況①



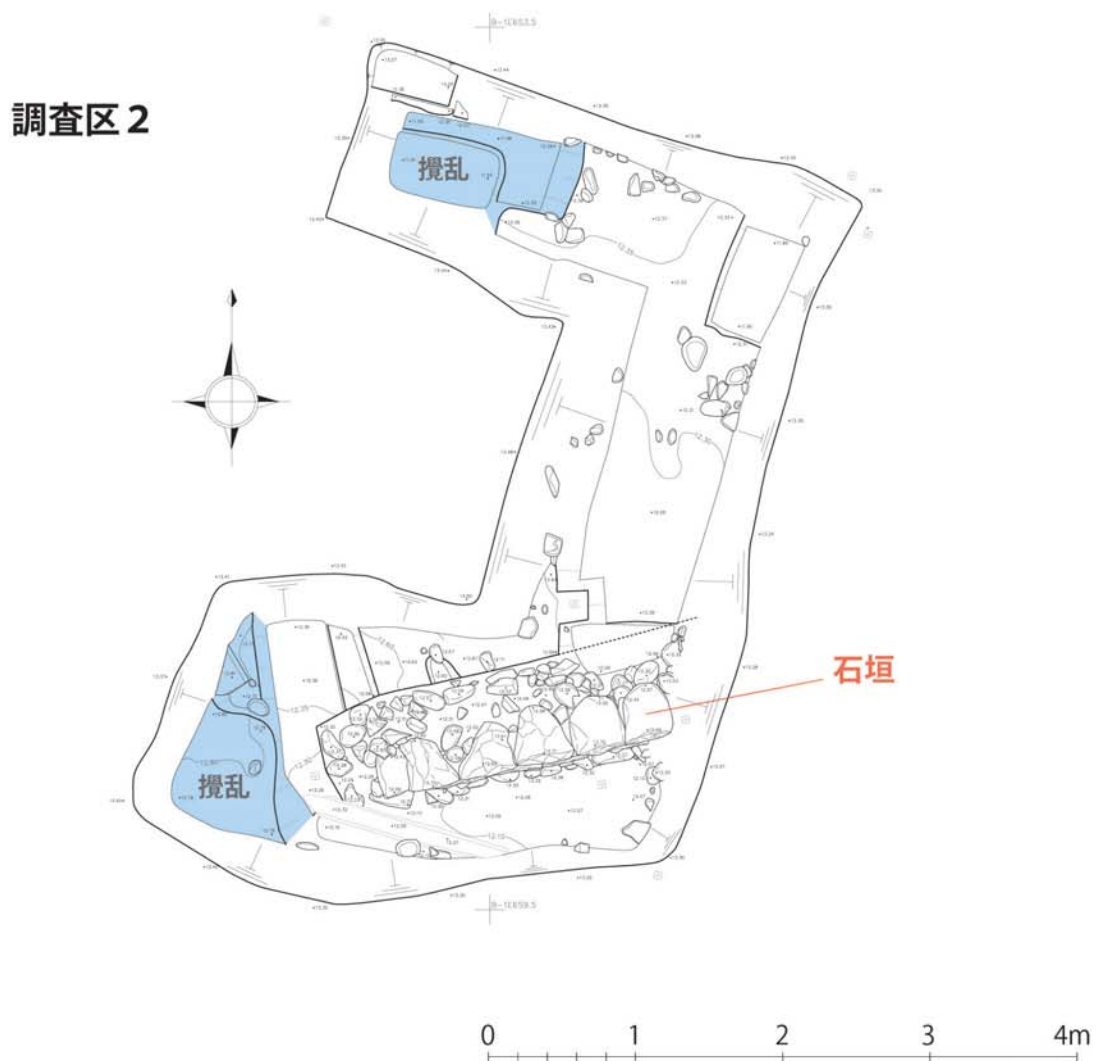
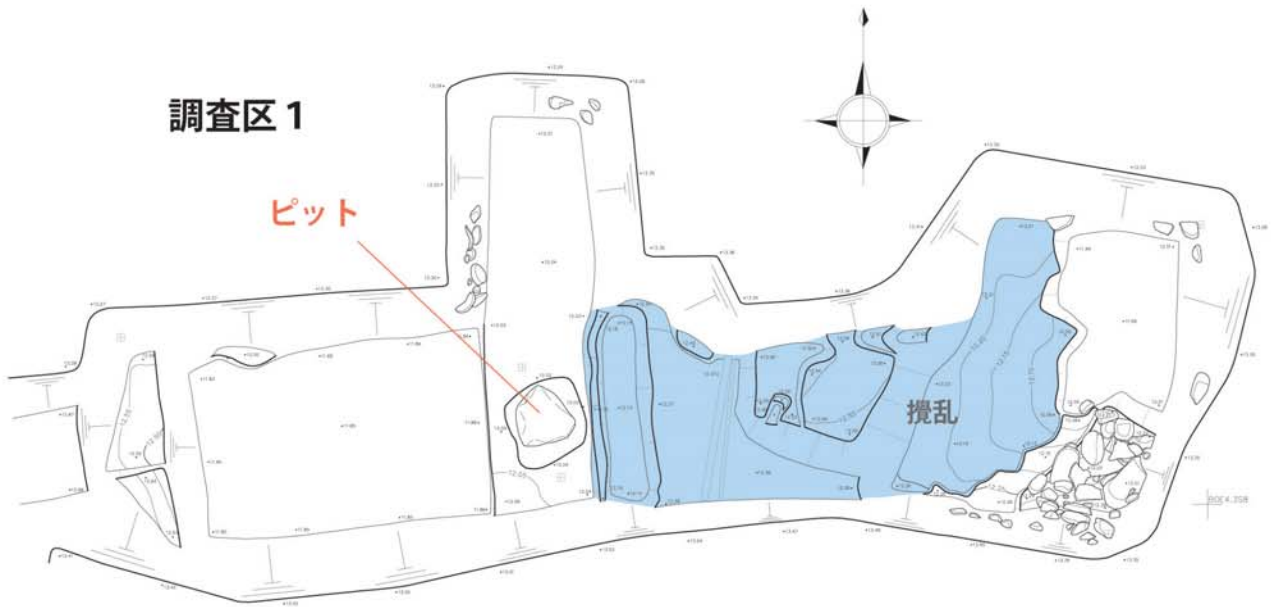
調査区2 完掘状況②



調査区1 ピット検出状況



調査区2 石垣検出状況



長氏屋敷跡 遺構平面図 (S=1/50)

2. 埋蔵文化財分布調査事業

(1) 平成 25 年度埋蔵文化財分布調査事業の概要

金沢市では公共事業に関する土木工事や建設工事及び民間の開発行為や農地転用の際に、事前に遺跡地図に基づく図面調査、実際の開発予定地における現地踏査、試掘確認調査等を実施し、埋蔵文化財の有無を確認している。

今年度は市施工の公共事業 14 件、民間の開発行為・農地転用 136 件について、埋蔵文化財の有無を調査した。以下はその一覧である。このほか、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事に伴うもので、慎重工事及び工事立会での対応となったものは別表のとおりであった。

■ 公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	事 業 名	担当課	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
1	小原町ム 18	墓地造成	市民課	5月21日	44,300.00㎡	踏査	無	支障なし
2	西金沢一丁目地内	駅周辺整備	都市計画課	6月25日	1,300.00㎡	試掘	無	支障なし
3	みどり一丁目 178	市営住宅改築	市営住宅課	7月3日	2,000.00㎡	試掘	無	支障なし
4	上辰巳拾字 30-1	建屋増築	企業局建設課	7月18日	41.00㎡	試掘	無	支障なし (末古窯跡群浅川支群)
5	弥生一丁目 26-1	校舎改築	教育総務課	8月13日	26,545.00㎡	試掘	無	支障なし
6	玉川町 2-20	駐輪場建設	図書館総務課	8月20日	85.50㎡	試掘	無	支障なし (長氏屋敷跡)
7	野町三丁目 11-1	学校建設	教育総務課	9月11日	356.21㎡	試掘	有	慎重工事 (野町三丁目遺跡 (11番地点))
8	北間町地内	道路築造	道路建設課	9月27日	1,800.00㎡	試掘	無	支障なし
9	南新保町リ 27-1	学校建設	教育総務課	10月8日	164.00㎡	試掘	無	支障なし
10	大浦町ヌ 93-1 他 1 筆	公民館建設	生涯学習課	11月13日	2,000.00㎡	試掘	無	支障なし
11	本多町三丁目地内	発電施設整備	環境政策課	12月9日	35.00㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
12	弥生一丁目 26-2	小学校施設改築	教育総務課	12月26日	13,036.00㎡	試掘	無	支障なし
13	米泉二丁目 72,73	公園整備	緑と花の課	2月17日	1,100.00㎡	試掘	無	支障なし
14	梨木町地内	林道造成	森林再生課	3月27日	— ㎡	踏査	無	支障なし

■ 民間の開発行為に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	行為の内容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
1	高尾南二丁目 65-18	宅地造成	4月8日	175.17㎡	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)
2	横川二丁目 84-2	住宅建設	4月10日	104.33㎡	試掘	無	支障なし (高橋セボネ遺跡)
3	伏見台三丁目 201	住宅建設	4月12日	282.19㎡	試掘	無	支障なし (円光寺向田遺跡)

ID	場 所	行為の内容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
4	本町1丁目1-73 他10筆	売買	4月17日	4,673.77㎡	試掘	有	協議要 (本町1丁目遺跡(2番地点))
5	本多町二丁目321-1	住宅建設	4月18日	847.52㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
6	彦三町一丁目172 外1筆	住宅建設	4月22日	103.00㎡	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡(彦三町一丁目5番地点))
7	高島二丁目52	住宅建設	4月23日	269.61㎡	試掘	無	支障なし (高島遺跡)
8	米泉町六丁目15 外1筆	分譲住宅建設	4月24日	1,427.20㎡	試掘	無	支障なし
9	広岡三丁目301-1の一部	事務所建設	4月25日	4,987.95㎡	試掘	無	支障なし
10	駅西本町六丁目1506～1509	駐車場造成	5月1日	1,015.76㎡	試掘	無	支障なし (藤江B遺跡)
11	元菊町10-23	住宅建設	5月8日	57.81㎡	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
12	木越町ツ18-1,21-1	福祉施設建設	5月8日	1,600.00㎡	試掘	無	支障なし
13	古府2丁目207	住宅建設	5月9日	151.37㎡	試掘	無	支障なし (古府B遺跡)
14	専光寺町そ75-1,75-2地先	店舗建設	5月10日	1,351.65㎡	試掘	無	支障なし
15	元菊町126	住宅建設	5月14日	142.86㎡	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
16	泉野町五丁目225-1 外4筆	店舗建設	5月14日	1,182.4㎡	試掘	無	支障なし
17	伏見台三丁目178	住宅建設	5月23日	307.00㎡	試掘	無	支障なし (円光寺向田遺跡)
18	平和町二丁目143,150	宅地造成	5月28日	6,120.97㎡	試掘	無	支障なし
19	平町ハ33 外	建設残土埋立場造成	5月29日	9,600.00㎡	踏査	無	支障なし
20	畝田西四丁目68-1	住宅建設	6月4日	454.68㎡	試掘	無	支障なし (畝田遺跡)
21	高島一丁目308 外3筆	事務所・倉庫建設	6月6日	1,137.16㎡	試掘	無	支障なし (高島遺跡)
22	窪町丁9-4	送電線鉄塔	6月6日	231.00㎡	踏査	無	支障なし (高尾城跡)
23	兼六元町181	住宅建設	6月10日	765.82㎡	試掘	有	立会調査 (金沢城下町遺跡(兼六元町11番地点))
24	有松四丁目166 外3筆	店舗建設	6月10日	1,412.00㎡	試掘	無	支障なし
25	畝田西三丁目109,110	住宅建設	6月11日	178.55㎡	試掘	無	支障なし (畝田遺跡)
26	石引四丁目13-35	駐車場造成	6月12日	2,500.00㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
27	長町一丁目316-1 外	病院建設	6月13日	11,390.17㎡	試掘	無	支障なし
28	香林坊二丁目277	店舗兼住宅建設	6月17日	104.03㎡	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡(香林坊二丁目11番地点))
29	湊四丁目64 外2筆	倉庫建設	6月17日	4,641.45㎡	試掘	無	支障なし
30	入江一丁目203-1 外1筆	幼稚園園舎の建設	6月21日	2,828.00㎡	試掘	無	支障なし

ID	場 所	行 為 の 内 容	回 答 日	面 積	調 査 方 法	結 果	対 応
31	浅野本町二丁目 323	分譲宅地造成	6月25日	1369.35㎡	試掘	無	支障なし
32	松村七丁目 89	住宅建設	6月28日	1327.00㎡	試掘	無	支障なし (松村 A 遺跡)
33	窪一丁目 107	住宅建設	7月1日	240.67㎡	試掘	無	支障なし (高尾城跡)
34	有松二丁目 608	住宅建設	7月2日	506.00㎡	試掘	無	支障なし (有松 D 遺跡)
35	専光寺町ニ 13-1 外 22 筆	売買	7月5日	1,2481.29㎡	試掘	有	支障なし (専光寺染色団地遺跡)
36	彦三町二丁目 276-5,276-6	住宅建設	7月12日	121.50㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
37	松村六丁目 172-2	住宅建設	7月18日	121.15㎡	試掘	無	支障なし (松村西の城遺跡)
38	古府三丁目 146,147-1	住宅建設	7月22日	296.00㎡	試掘	無	支障なし (古府 B 遺跡)
39	本江町 352	住宅建設	7月23日	139.00㎡	試掘	無	支障なし (犀川鉄橋遺跡)
40	伏見台三丁目 136-2	住宅建設	7月30日	214.00㎡	試掘	無	支障なし (円光寺向田遺跡)
41	高尾台一丁目 176	住宅建設	7月30日	348.65㎡	試掘	無	支障なし (高尾天神堂遺跡)
42	専光寺町ツ 11,12	太陽光パネル設置	7月31日	1,982.00㎡	試掘	無	支障なし
43	北安江四丁目 1640 外 3 筆	宅地分譲	7月31日	1,636.48㎡	試掘	無	支障なし
44	石引四丁目 73-1,75	共同住宅建設	8月1日	497.18㎡	試掘	有	立会調査 (金沢城下町遺跡 (石引四丁目 2 番地点))
45	増泉四丁目 141 外 2 筆	売買	8月2日	3,170.81㎡	試掘	無	支障なし
46	古府町南 450	住宅建設	8月5日	434.86㎡	試掘	無	支障なし (古府遺跡)
47	矢木二丁目 63-3	住宅建設	8月5日	165.32㎡	試掘	無	支障なし (矢木ヒガシウラ遺跡)
48	若松町ツ 176	住宅建設	8月8日	315.97㎡	試掘	無	支障なし (若松本泉寺跡)
49	北安江四丁目 1704	宅地造成	8月12日	2,138.96㎡	試掘	無	支障なし
50	高島二丁目 40,41,42	売買	8月12日	1,095.00㎡	試掘	無	支障なし (高島遺跡)
51	安江町 130,136	共同住宅建設	8月20日	309.83㎡	試掘	有	立会調査 (金沢城下町遺跡 (安江町 3 番地点))
52	金石本町口 32-1,32-3	住宅建設	8月21日	736.00㎡	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
53	小將町 241-10	住宅建設	8月22日	564.15㎡	試掘	有	立会調査 (金沢城下町遺跡 (小將町 8 番地点))
54	古府三丁目 150-2	店舗建設	8月22日	1,162.24㎡	試掘	有	慎重工事 (古府クルビ遺跡)
55	百坂町ト 31 外 5 筆	住宅建設	8月26日	1,773.00㎡	試掘	無	支障なし
56	高島二丁目 119	住宅建設	8月27日	275.00㎡	試掘	無	支障なし (高島遺跡)
57	松村七丁目 66-4	住宅建設	8月28日	164.25㎡	試掘	無	支障なし (松村 A 遺跡)

ID	場 所	行為の内容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
58	兼六元町 231	住宅建設	8月29日	203.97㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
59	森戸一丁目 150 外6筆	住宅建設(分譲)	9月5日	3,437.99㎡	試掘	無	支障なし
60	東兼六町 58,59	住宅建設	9月6日	96.11㎡	試掘	有	立会調査 (金沢城下町遺跡(東兼六町2番地点))
61	兼六町 25	店舗建設	9月12日	3,830.65㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
62	梅田町口 34-1, 口 35	教会建設	9月17日	1,320.00㎡	試掘	有	慎重工事 (梅田B遺跡)
63	小將町 1-18	住宅建設	9月18日	164.88㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
64	四十万三丁目 318-5	住宅建設	9月18日	171.43㎡	試掘	無	支障なし (三十苅遺跡)
65	兼六元町 448	住宅建設	9月20日	379.07㎡	試掘	有	立会調査 (金沢城下町遺跡(兼六元町7番地点))
66	無量寺町ホ 111	事務所建設	9月20日	740.00㎡	試掘	無	支障なし (無量寺遺跡)
67	無量寺町ホ 112	事務所・工場建設	9月20日	742.00㎡	試掘	無	支障なし (無量寺遺跡)
68	押野二丁目 223-1 外2筆	住宅建設	10月1日	248.58㎡	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)
69	大豆田本町甲 523 外4筆	工場増築	10月1日	1,718.92㎡	試掘	無	支障なし
70	福増町北 569 外	事務所建設	10月9日	2,194.81㎡	試掘	無	支障なし
71	みどり一丁目 137	住宅建設	10月15日	263.23㎡	試掘	無	支障なし (上安原緑団地遺跡)
72	八日市四丁目 394,395	住宅建設	10月15日	184.79㎡	試掘	無	支障なし (八日市ヤスマル遺跡)
73	観音堂町チ 18	社屋建設	10月16日	1,310.00㎡	試掘	無	支障なし
74	近岡町 395 外18筆	宅地造成	10月22日	4,700.00㎡	試掘	無	支障なし
75	泉三丁目 485-1 外2筆	駐車場造成	10月24日	1,410.00㎡	試掘	無	支障なし
76	瓢箪町 827	住宅建設	10月24日	358.06㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
77	尾山町 176	住宅建設	10月28日	105.56㎡	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡(尾山町6番地点))
78	森戸一丁目 143,144	事務所ビル建設	10月31日	1,214.73㎡	試掘	無	支障なし
79	米泉町八丁目 90 外1筆	店舗建設	10月31日	1,047.28㎡	試掘	無	支障なし
80	額谷町 1-9 外17筆	介護施設建設	11月6日	2,006.00㎡	試掘	無	支障なし (額谷遺跡)
81	畝田中四丁目 24	住宅建設	11月7日	608.00㎡	試掘	無	支障なし
82	三口新町三丁目 746	住宅建設・店舗建設	11月7日	165.00㎡	試掘	無	支障なし (三口新町遺跡)
83	彦三町一丁目 178	住宅建設	11月8日	367.29㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
84	尾張町一丁目 172	住宅建設	11月8日	82.13㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)

ID	場 所	行為の内容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
85	末町 82-3	宅地造成・住宅建設	11月15日	491.00㎡	試掘	無	支障なし (末遺跡)
86	高島二丁目 37	住宅建設	11月15日	332.00㎡	試掘	無	支障なし (高島遺跡)
87	広岡一丁目 904	共同住宅・店舗	11月19日	2,486.79㎡	試掘	無	支障なし
88	下新町 149	住宅建設	11月20日	95.14㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
89	山科町東 41-1,42	住宅建設	11月20日	292.94㎡	試掘	無	支障なし (山科かねつき堂遺跡)
90	長坂二丁目 1219	宅地造成	11月21日	418.30㎡	試掘	無	支障なし (長坂A遺跡)
91	長坂二丁目 233-1 の一部	住宅建設	11月21日	274.11㎡	試掘	無	支障なし (長坂A遺跡)
92	金石本町ハ 4-1	宅地売買	11月21日	407.49㎡	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
93	新保本一丁目 332	住宅建設	11月26日	339.00㎡	試掘	無	支障なし (新保本町東遺跡)
94	八日市一丁目 772 外 2 筆	店舗建設	11月26日	1,243.00㎡	試掘	無	支障なし
95	割出町 453-1,454-1	仮設保育園建設	11月27日	1,632.00㎡	試掘	無	支障なし
96	泉三丁目 454 外 4 筆	分譲マンション建設	11月27日	1,520.94㎡	試掘	無	支障なし
97	西泉二丁目 132-1,133-1	宅地造成	12月3日	1,284.00㎡	試掘	無	支障なし
98	笠舞一丁目 308	住宅建設	12月4日	161.00㎡	試掘	無	支障なし (笠舞A遺跡)
99	浅野本町口 170 外 2 筆 乙丸町甲 46-3	店舗建設	12月9日	1,458.00㎡	試掘	無	支障なし
100	上荒屋四丁目 11	住宅建設	12月11日	209.41㎡	試掘	無	支障なし (上荒屋住宅遺跡)
101	野町一丁目 192 外 7 筆	店舗建設	12月13日	1,235.25㎡	試掘	無	支障なし
102	彦三町一丁目 279-2 外 4 筆	住宅建設	12月18日	148.34㎡	試掘	有	立会調査 (金沢城下町遺跡(彦三町一丁目7番地点))
103	旭町三丁目 14 外 4 筆	店舗建設	12月18日	1,540.03㎡	試掘	無	支障なし
104	西泉六丁目 133-1 外 1 筆	店舗建設	12月24日	1,026.00㎡	試掘	無	支障なし
105	専光寺町ワ 19-1	工場・駐車場	12月24日	1,080.00㎡	試掘	無	支障なし
106	兼六元町 402-2,402-3	診療所建設	12月25日	344.39㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
107	加賀朝日町ヲ 71-1 外 6 筆	基盤工事(盛土)	12月25日	2,929.36㎡	踏査	無	支障なし
108	泉野町二丁目 259	宅地分譲	1月8日	1,823.69㎡	試掘	無	支障なし
109	近岡町 891	駐車場用地	1月14日	648.00㎡	試掘	無	支障なし
110	長田二丁目 56 外 6 筆	ホテル建設	1月20日	4,612.00㎡	試掘	無	支障なし
111	北塚町東 71	農地転用	1月30日	509.00㎡	試掘	無	支障なし (北塚B遺跡)

ID	場 所	行為の内容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
112	兼六元町 451 外 2 筆	住宅建設	2月7日	672.82㎡	試掘	有	立会調査 (金沢城下町遺跡(兼六元町7番地点))
113	八日市三丁目 552 外 4 筆	店舗建設	2月7日	956㎡	試掘	無	支障なし (八日市B遺跡)
114	笠舞本町二丁目 492 外 6 筆	宅地造成	2月10日	2,953.93㎡	試掘	無	支障なし
115	近岡町 832-1 外 2 筆	店舗建設	2月12日	1,198.91㎡	試掘	無	支障なし (近岡遺跡)
116	元菊町 95	住宅建設	2月19日	226.71㎡	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
117	柳橋町ア 23 外 5 筆	宅地分譲	3月3日	3,385.10㎡	試掘	無	支障なし
118	松村六丁目 68	駐車場造成	3月4日	668.00㎡	試掘	無	支障なし (松村平田遺跡)
119	寺地二丁目 3,14	事務所付共同住宅建設	3月4日	478.00㎡	試掘	無	支障なし (有松C遺跡)
120	寺中町へ 45	住宅建設	3月5日	293.88㎡	試掘	有	慎重工事 (寺中B遺跡)
121	戸室新保イ 99 外 6 筆	住宅建設	3月11日	1,304.80㎡	試掘	無	支障なし (戸室新保遺跡)
122	入江二丁目 442	事務所建設	3月12日	551.50㎡	試掘	無	支障なし (玉鉾遺跡)
123	神田一丁目 417 外 5 筆	店舗建設	3月12日	1,377.55㎡	試掘	無	支障なし
124	旭町一丁目 286 外 3 筆	農地転用	3月13日	1,052.00㎡	試掘	無	支障なし
125	上辰巳町拾字 211-1	デイサービスセンター建設	3月14日	1,790.02㎡	試掘	無	支障なし
126	堅田町へ 74-1 外 7 筆	病院建設	3月14日	22,900.00㎡	踏査	無	支障なし (岩出銭がめ塚遺跡)
127	北塚町西 8-1	住宅建設	3月17日	389.88㎡	試掘	無	支障なし (北塚A遺跡)
128	入江二丁目 70 外 7 筆	店舗建設	3月17日	2,357.00㎡	試掘	無	支障なし
129	大場町東 199,200	住宅建設	3月18日	203.44㎡	試掘	無	支障なし (大場遺跡)
130	小立野一丁目 115	住宅建設	3月19日	188.00㎡	試掘	無	支障なし (旧上野射撃場遺跡)
131	花里町 11-6	住宅建設	3月19日	318.48㎡	試掘	無	支障なし (大桑橋遺跡)
132	車町 34	駐車場造成	3月24日	330.00㎡	試掘	無	支障なし (車遺跡)
133	八日市三丁目 528 外 4 筆	集合住宅建設	3月24日	1,506.00㎡	試掘	無	支障なし (八日市B遺跡)
134	加賀朝日町地内	山土採取	3月27日	8,963.00㎡	踏査	無	支障なし
135	三口町火 330	店舗建設	3月28日	1,335.88㎡	試掘	無	支障なし
136	彦三町一丁目 115 外 1 筆	車庫建設	3月28日	375.22㎡	試掘	有	慎重工事 (金沢城下町遺跡(彦三町一丁目5番地点))

■ (別表) 土木工事のための発掘届・発掘通知一覧

ID	届・通知の別	場 所	行為の内容	届出日	取 扱 通知日	面 積	遺跡名	対 応
1	93条 (届)	木曳野土地区画整理地内 47 街区 9	住宅建設	4月16日	4月22日	183.00㎡	桂町南遺跡	工事立会
2	93条 (届)	直江土地区画整理地内 42 街区 1-1,1-3	店舗建設	4月16日	4月22日	721.74㎡	直江北遺跡	工事立会
3	93条 (届)	直江土地区画整理地内 42 街区 1-2	住宅建設	4月16日	4月22日	435.38㎡	直江北遺跡	工事立会
4	93条 (届)	田上第五土地区画整理地内 24 街区 10-1	個人住宅建設	4月19日	5月2日	170.00㎡	田上東遺跡	慎重工事
5	93条 (届)	戸坂第二土地区画整理地内 56 街区 8-1 外 7 筆	長屋・店舗建設	4月26日	5月1日	1,645.88㎡	出雲じいさまだ遺跡	工事立会
6	93条 (届)	彦三町一丁目 172,171	住宅建設	5月14日	5月20日	154.29㎡	金沢城下町遺跡 (彦三町一丁目 5 番地点)	慎重工事
7	93条 (届)	田上第五土地区画整理地内 22 街区 5	住宅建設	5月15日	5月20日	281.00㎡	田上東遺跡	慎重工事
8	93条 (届)	木曳野土地区画整理地内 29 街区 8	専用住宅建設	5月20日	5月27日	231.00㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
9	93条 (届)	直江土地区画整理地内 42 街区 5,6,7	事務所建設	6月3日	6月12日	892.00㎡	直江北遺跡	工事立会
10	93条 (届)	兼六元町 181 の一部	専用住宅建設	6月13日	6月21日	200.80㎡	金沢城下町遺跡 (兼六元町 11 番地点)	工事立会
11	93条 (届)	兼六元町 182 の一部	専用住宅建設	6月13日	6月21日	283.94㎡	金沢城下町遺跡 (兼六元町 11 番地点)	工事立会
12	93条 (届)	田上第五土地区画整理地内 13 街区 4	専用住宅建設	6月14日	6月21日	229.00㎡	田上北遺跡	工事立会
13	93条 (届)	戸坂第二土地区画整理地内 63 街区 13	個人住宅建設	6月25日	7月11日	157.00㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
14	93条 (届)	香林坊二丁目 277	店舗兼住宅建設	6月27日	7月3日	104.03㎡	金沢城下町遺跡 (香林坊二丁目 11 番地点)	慎重工事
15	93条 (届)	戸坂第二土地区画整理地内 57 街区 8	住宅建設	7月5日	7月11日	217.00㎡	出雲じいさまだ遺跡	工事立会
16	93条 (届)	戸坂第二土地区画整理地内 63 街区 13	個人住宅建設	7月26日	8月15日	150.00㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
17	93条 (届)	中屋一丁目 58,57-3	住宅建設	7月29日	8月8日	414.07㎡	中屋ヘンタ遺跡	工事立会
18	93条 (届)	玉川町 102-1	共同住宅建設	8月12日	8月29日	2,843.71㎡	玉川町遺跡	工事立会
19	93条 (届)	石引四丁目 73-1,75	共同住宅	8月19日	8月30日	497.18㎡	金沢城下町遺跡 (石引四丁目 2 番地点)	工事立会
20	93条 (届)	安江町 130,136	共同住宅・店舗建設	8月23日	9月10日	309.83㎡	金沢城下町遺跡 (安江町 3 番地点)	工事立会
21	93条 (届)	小将町 8-5	住宅の増改築	9月3日	9月9日	564.15㎡	金沢城下町遺跡 (小将町 8 番地点)	工事立会
22	93条 (届)	畝田東四丁目 1121 の一部	長屋新築	9月5日	9月13日	300.16㎡	畝田 C 遺跡	工事立会
23	93条 (届)	戸坂第二土地区画整理地内 56 街区 6	個人住宅建設	9月9日	9月13日	187.00㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
24	93条 (届)	東兼六町 58,59	住宅建設	9月10日	9月20日	96.11㎡	金沢城下町遺跡 (東兼六町 2 番地点)	工事立会
25	93条 (届)	兼六元町 448	住宅建設	9月24日	9月30日	377.28㎡	金沢城下町遺跡 (兼六元町 7 番地点)	工事立会
26	93条 (届)	木曳野土地区画整理地内 25 街区 10 の一部 外 4 筆	借家建設	10月4日	10月11日	634.74㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会

ID	届・通知の別	場 所	行為の内容	届出日	取 扱 通知日	面 積	遺跡名	対 応
27	93条 (届)	田上第五土地区画整理地内 12街区 3-1	住宅建設	10月8日	10月11日	170.00㎡	田上北遺跡	慎重工事
28	94条 (通知)	野町3丁目 447	仮設校舎建設	10月9日	11月5日	356.21㎡	野町3丁目遺跡(11番地点)	慎重工事
29	93条 (届)	梅田町口 34-1,35-1	教会建設	10月22日	10月31日	1,329.27㎡	梅田B遺跡	慎重工事
30	93条 (届)	尾山町 176	住宅建設	10月28日	11月6日	105.56㎡	金沢城下町遺跡 (尾山町 6番地点)	慎重工事
31	93条 (届)	大友土地区画整理地内 2街区 4-2,4-3	長屋の建設	11月7日	11月13日	638.00㎡	大友D遺跡	慎重工事
32	93条 (届)	古府三丁目 150-2	駐車場造成	11月20日	11月28日	1,162.24㎡	古府クルビ遺跡	慎重工事
33	93条 (届)	大桑一丁目 169,170,171	グループホーム建設	12月20日	12月27日	609.48㎡	大桑B遺跡	工事立会
34	93条 (届)	木曳野土地区画整理地内 38街区 24,25	動物病院建設	1月8日	1月15日	150.00㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
35	93条 (届)	神野三丁目 6-1,6-2	住宅建設	1月15日	1月27日	272.82㎡	神野遺跡・南塚B遺跡	工事立会
36	93条 (届)	兼六元町 451,452,453	共同住宅建設	2月13日	2月24日	672.82㎡	金沢城下町遺跡 (兼六元町 7番地点)	工事立会
37	93条 (届)	彦三町一丁目 279-2の一部, 280-1の一部,280-2,283,284	住宅建設	2月7日	2月14日	144.46㎡	金沢城下町遺跡 (彦三町一丁目 7番地点)	工事立会
38	93条 (届)	木曳野土地区画整理地内 47街区 5	住宅建設	2月17日	2月27日	253.00㎡	桂町南遺跡	慎重工事
39	94条 (通知)	主計町地内	便所兼休憩所改築	2月28日	3月11日	37.49㎡	金沢城下町遺跡 (西内惣構跡 主計町地点)	慎重工事
40	93条 (届)	兼六元町 181-3	住宅建設	3月4日	3月11日	281.03㎡	金沢城下町遺跡 (兼六元町 11番地点)	工事立会
41	93条 (届)	寺中町へ 45	個人住宅建設	3月19日	3月28日	293.88㎡	寺中B遺跡	慎重工事
42	93条 (届)	畝田東四丁目 1120,1121-2	貸屋建設	3月27日	4月8日	170.26㎡	畝田C遺跡	工事立会

3. 教育・普及・啓発活動事業

(1) 歴史ふれあい講座

当センターでは平成12年度より職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について児童に直接講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。近年、小学校では総合学習の時間を利用し、体験活動を通して郷土の歴史を学ぶ機会が増加しているが、そういった教育の場で当センターがこれまで培ってきた市内における発掘調査の成果を利用した「古代体験」の場を積極的に提供することで、郷土の歴史への愛着と埋蔵文化財への理解を深めてもらうことがこの事業の目的である。

《過去5年間の事業実績》

実施年度	学校数	講座数	児童数
平成21年度	20	46	1,520
平成22年度	27	57	1,947
平成23年度	32	71	2,341
平成24年度	33	66	2,214
平成25年度	32	65	2,229

「歴史ふれあい講座」は基本的に小学校6年生を対象とし、年度当初の4～5月を開催時期として設定している。これは、この時期が歴史学習の導入時期に当たり、実際に市内各所から出土した土器や石器の実物に触れることで、歴史を肌で感じることができ、これから始まる歴史学習に興味を持つ機会を創出できるとの考えからである。事前に担当職員が学校を訪問し、授業の進捗状況、先生方からの要望を調査することで、各小学校の授業の進捗に沿った講座内容にするべく努めており、事業初年度こそ参加校は8校であったが、近年では市内小学校数の過半数に当たる40校以上の申し込みが寄せられている。しかしながら、各小学校からの開催希望日が重複し、申し込みを断念するケースがあり、全ての申し込みに応えられていないのが現状である。

講座内では貫頭衣の試着、石を使ってのくるみ割り、縄文～古墳時代の遺物見学、最後に火起こしまたは勾玉作りの体験がある。さらに現在の生活と文化財との接点を意識してもらえよう、各小学校の校区内に所在する文化財や埋蔵文化財包蔵地を記した「文化財マップ」を配布し、校区内の遺跡から発掘された出土品を展示している。この内容で、1講座100分を所要する。

平成22年度からは金沢文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私協働で事業を行っている。今年度は4月17日の十一屋小学校から始まり、5月31日の米丸小学校に終わる32校で開催した。うち20校が火起こしを、10校が勾玉作りを、2校は勾玉作りも火起こしも行わない短時間のコースを行った。参加児童数は2,229名、平成12年度からの累計では23,166人となった。今後も講座内容の積極的な見直し、改善を行い、より多くの児童に歴史に興味を持つ機会を提供できればと考えている。



火起こし体験



勾玉作り体験

(2) 金沢こども歴史探検隊

当センターでは平成 15 年度より、将来を担う子どもたちを対象にさらなる歴史体感の場として、市内の史跡・建造物など、実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢こども歴史探検隊」を実施している。これは、ふるさとの歴史をより理解し、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護ってゆく「金沢型の文化財保存活動」を実現する環境の形成を図ることが目的である。

今回は、「金沢市歴史遺産探訪月間」の開催にあわせ、重要文化財建造物や石川県指定文化財建造物などが建ち並ぶ「金沢湯涌江戸村」を会場として、文化財建造物を題材としたクイズラリーを行った。

クイズの内容は小学校低学年用と高学年用の 2 種類を用意した。あらかじめ配った湯涌江戸村の見取図に記載されたクイズの配置場所を探し出し、それに答えていくというものである。成績上位者を「湯涌江戸村博士」として認定し、後日認定証を送付した。クイズ形式とすることで普段見過ごしてしまう細部についても十分に観察でき、実際に文化財に触れてみることで、ふるさとの歴史により一層の親しみをもってくれたようである。

《過去 5 回の事業実績》

第 12 回 「金沢湯涌江戸村探検隊！」

開催日：平成 25 年 10 月 13 日（日）

内 容：金沢湯涌江戸村でのクイズラリー

参加者：小学生および保護者 17 人

実施年度	回数	タイトル
平成 20 年度	8	「めざせ金沢城博士!!」 Vol.2
平成 21 年度	9	「加賀藩主前田家墓所探検」
平成 23 年度	10	「集え!! 未来の考古学者たち!!」
平成 24 年度	11	「めざせ金沢城博士!!」 Vol.3
平成 25 年度	12	「金沢湯涌江戸村探検隊！」



会場の様子



クイズラリー状況



クイズラリー状況



クイズラリー状況

(3) 土清水塩硝蔵跡国史跡指定記念シンポジウム

金沢市涌波町地内に所在する土清水塩硝蔵跡は、藩政期に辰巳用水の水を利用して黒色火薬を製造していた国内最大級の施設である。

金沢市では、土清水塩硝蔵跡を金沢の歴史上欠くことのできない貴重な文化遺産として捉え、これを後世に護り伝えていくため、平成19年度から4ヶ年計画で国史跡指定を目指した詳細調査を実施してきた。調査は平成22年度に終了し、平成24年7月に文化庁に対して史跡指定の意見具申を行い、平成25年3月、国史跡「辰巳用水」に追加される形で「辰巳用水附土清水塩硝蔵跡」として国史跡指定を受けた。

この史跡を一般の方々に広く、深く知っていただくために、史跡の価値および保護と課題についての文化庁記念物課文化財調査官による記念講演、調査担当者による調査成果の報告、有識者を交えたパネルディスカッションで構成されるシンポジウム「土清水塩硝蔵跡の過去と未来」を開催した。

終了後に回収したアンケートでは、史跡の価値を改めて認識したとの意見が多く聞かれた。今後も積極的にこのような機会を設け、歴史遺産の普及・啓発に努めていきたい。

土清水塩硝蔵跡国史跡指定記念シンポジウム『土清水塩硝蔵跡の過去と未来』

会 場：金沢歌劇座 2階 大集会室

開催日：平成25年6月8日（土）

内 容：講演 「我が国の史跡における辰巳用水附土清水塩硝蔵跡の価値」

山下信一郎氏（文化庁文化財部記念物課文化財調査官（史跡部門））

報告 「土清水塩硝蔵跡の詳細調査」

谷口 明伸（金沢市文化財保護課）

パネルディスカッション「土清水塩硝蔵跡の国史跡指定を考える」

コーディネーター：宇佐美 孝氏（玉川図書館近世史料館専門員）

パネリスト：浦辻 一成氏（南砺市教育委員会文化・世界遺産課課長）

木越 隆三氏（金沢城調査研究所所長）

谷内尾晋司氏（石川考古学研究会会長）

山下信一郎氏（文化庁文化財部記念物課文化財調査官（史跡部門））

参加者：207人



講演：山下信一郎氏



パネルディスカッション

(4) 市民ふるさと歴史研究会

当センターでは、一般市民を対象に埋蔵文化財に対する理解と愛護精神の醸成を目的として、発掘調査や学術詳細調査の成果を解説する講座「市民ふるさと歴史研究会」を平成16年度より開催している。今回は、「前田家墓所の多様性」をテーマとして、国指定史跡である加賀藩主前田家墓所（金沢市野田町）と前田利長墓所（富山県高岡市）、また野田町に改葬される前の藩主墓所のひとつである小立野四丁目遺跡（旧天徳院境内地）を市民に紹介する講演会を行った。

3人の講師が考古学および文献史学の見地から各史跡・遺跡の調査成果について講演を行い、会場内に小立野四丁目遺跡の発掘調査で出土した遺物を展示した。参加者は説明・講演ともに熱心に聞き入っており、前田家墓所の多様性について理解が深まったものと感じられた。金沢の歴史・文化について、これからも強力に発信していくことが望まれる。

第14回 市民ふるさと歴史研究会『もうひとつの前田家墓所～天徳院・高岡市前田利長墓所～』

会場：金沢能楽美術館 3階 研修室

開催日：平成25年11月2日（土）

内容：講演「文献にみえる前田家墓所」 宇佐美 孝氏（玉川図書館近世史料館専門員）

報告「前田利長墓所の調査成果について」 廣瀬 勇也氏（高岡市文化財課）

報告「天徳院前田家墓所の発掘調査について」 谷口 明伸（金沢市文化財保護課）

参加者：100人

《過去5年間の事業実績》

実施年度	回数	タイトル	対象となった遺跡・史跡等
平成21年度	10	加賀八家本多家の歴史と上屋敷周辺の発掘報告	本多氏屋敷跡
平成22年度	11	玉つくりから見る金沢の古墳時代	出雲じいさまだ遺跡 ほか
平成23年度	12	加賀八家墓所からみる近世の社会	加賀八家墓所
平成24年度	13	縄文の技と美 ～金沢市指定文化財中屋サワ遺跡の出土品特別公開～	中屋サワ遺跡
平成25年度	14	もうひとつの前田家墓所 ～天徳院・高岡市前田利長墓所～	加賀藩主前田家墓所 小立野四丁目遺跡



講演：宇佐美 孝氏



出土遺物の見学と解説

(5) 史跡活用事業

一般市民に郷土の歴史・文化と埋蔵文化財についての理解を深めてもらうことを目的に各種イベントを開催、これらを通じて文化財愛護の精神を培う機会の創出を目的としている。対象は小学生から中学生およびその保護者を主とし、親子がふれあう機会を提供する場にもなっている。各イベントの実施概要は以下の通りである。

なお、開催にあたっては石川県史跡整備市町協議会から助成金をうけている。

【史跡フェスタみわ】

国指定史跡東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡の奈良・平安時代の初期荘園の風景を再現した上荒屋史跡公園を会場に、奈良・平安時代の生活体験イベントを平成9年度より行っている。

実施日：平成25年7月27日（土）

主な内容：古代衣裳試着体験 古代食試食体験
火起こし体験 勾玉作り 土器作り
繭糸取り体験 土器・パネル展示等

参加者：約120人

委託先：金沢市三和公民館振興協力会



勾玉作り体験（史跡フェスタみわ）

【チカモリ縄文まつり】

国指定史跡チカモリ遺跡の縄文時代の遺構を復元したチカモリ遺跡公園を会場に、縄文時代の生活を体験するイベントを平成7年度より行っている。

実施日：平成25年8月4日（日）

主な内容：火起こし体験 勾玉作り 土器作り
縄文食試食体験 クルミ割り体験
貫頭衣試着体験 ハンターゲーム等

参加者：約300人

委託先：金沢市西南部公民館振興協力会



土器作り体験（チカモリ縄文まつり）

【古代の里探訪会】

「金沢市歴史遺産探訪月間」にあわせ、いずれも国史跡である金沢市東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡、野々市市御経塚遺跡、白山市東大寺領横江荘遺跡荘家跡をウォーキングで巡る探訪会を開催した。

コースは3市にまたがる遊歩道などを中心に設定し、ガイダンス施設と各史跡では各市の担当者による説明と質疑応答が行われた。

実施日：平成25年10月19日（土）

参加者：約40人



上荒屋遺跡の解説（古代の里探訪会）

(6) 現地説明会

発掘調査の成果を市民に還元する方法の一つとして、発掘調査現地説明会がある。実際に発掘調査を行っている現場を直に見学する現地説明会は、埋蔵文化財を身近に感じることのできる最良の方法のひとつである。

今年度は、大友E遺跡(近岡遺跡群)、沖町遺跡、伝善徳寺跡の3カ所において現地説明会を開催した。開催概要は下表のとおりである。うち沖町遺跡と伝善徳寺跡については、金沢市が市民に対して文化財に気軽に触れる機会を提供することを目的として平成19年度から開催している「金沢市歴史遺産探訪月間」の一環として実施したものである。

各遺跡の概要については、本書1の(3)および(4)を参照してほしい。

《現地説明会一覧》

遺跡名	場 所	開催日	対象	参加者数
大友E遺跡 (近岡遺跡群)	金沢市近岡町地内	平成25年7月28日	一般市民	40人
沖町遺跡	金沢市磯部町地内	平成25年10月14日	一般市民	50人
伝善徳寺跡	金沢市砂子坂町地内	平成25年10月26日	一般市民	45人



沖町遺跡：遺構の解説



沖町遺跡：遺物の解説

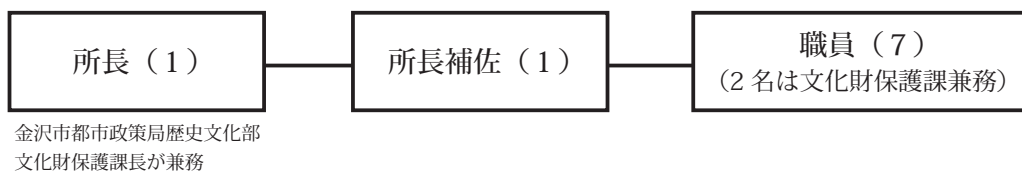


大友E遺跡：遺構の解説



伝善徳寺跡：遺構の解説

4. 組織



平成 25 年度
金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 26 年 3 月 31 日発行

発行 金沢市

編集 金沢市埋蔵文化財センター

〒 920-0374

金沢市上安原南 60 番地

TEL : 076-269-2451

FAX : 076-269-2452

Mail : maibun@city.kanazawa.lg.jp

